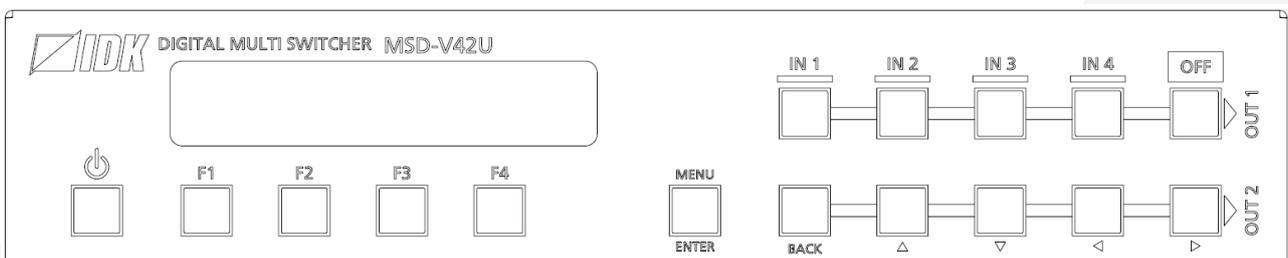
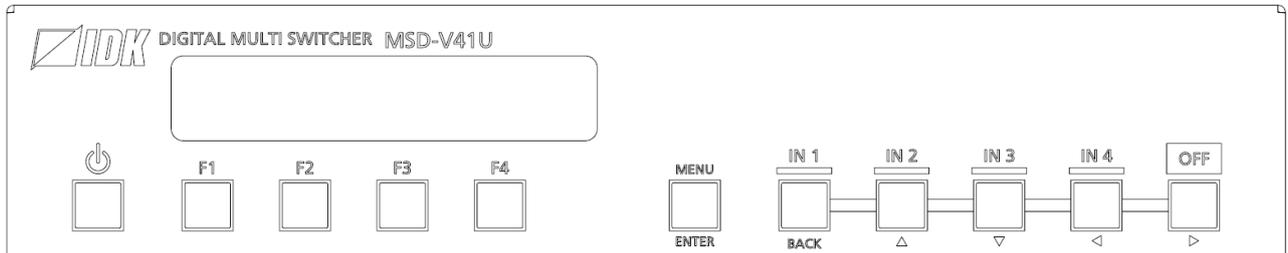


デジタルマルチスイッチャー MSD-V4 シリーズ

MSD-V41U/MSD-V42U
MSD-V41UC/MSD-V42UC
MSD-V41UT/MSD-V42UT

オペレーションガイド
Ver.2.2.0



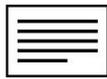
このたびは IDK 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に本書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は大切に保管してください。

- 製品のバージョンにより、本書に記載されている外観図やメニューなどが異なる場合があります。
- 製品のデザイン、仕様、および外観は、予告なく変更する場合があります。
- 本書には著作権が含まれており、本書の一部またはすべての無断転載を禁じます。
- 最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードできます。

www.idk.co.jp

マニュアルの構成

■ はじめにお読みください。

<p>1. 安全上のご注意 製品を安全に使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。</p>	 製品同梱
<p>2. 設置ガイド 付属品、設置時の注意、および接続の準備など設置に関する情報を説明しています。</p>	

■ 目的に応じてお読みください。

<p>3. オペレーションガイド 基本的な使い方(HOW TO)を説明しています。</p>	 www.idk.co.jp ダウンロード
<p>4. テクニカルガイド 機能、制限事項、および設定内容について説明しています。</p>	
<p>5. コマンドガイド RS-232C 通信や LAN 通信を用いて本機を制御する通信コマンドについて説明しています。</p>	

商標について

- HDBaseT™ および HDBaseT アライアンスロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- SDVoE™ および SDVoE ロゴは、SDVoE Alliance の商標です。
- その他、本書内に記載されている各種名前、および会社名は、各社の商標または登録商標であり、これを当社は十分尊重いたします。なお、本文中では®マークや™マークは明記していません。
- ©2022 IDK Corporation, all rights reserved.

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

安全上のご注意

本書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- ・ この「安全上のご注意」は、弊社製品全般についての内容です。そのため、お客様がお持ちの製品には該当しない内容が含まれる場合があります。
- ・ 内容によっては、取扱説明書内で詳細に説明しているものもあります。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な注意内容を示します。	 高温面注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な禁止内容を示します。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な指示内容を示します。	 プラグを抜く

警告

重い製品を持ち上げるときは



指示

●持ち上げるときは2人以上で作業する

製品を持ち上げるとき、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に下ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。

1人での持ち上げは負傷を招く原因になります。

設置・接続するときは



禁止

●不安定な場所に置かない

水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。

●振動のある場所に設置するときは固定する

振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。



警告

	<p>●据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く 機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。 本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p> <p>●必ずアースに接続する アース接続せずに使用すると、感電の原因になります。</p> <p>●PoE・PoH 給電を使用するときは、IEEE802.3af/at 規格に適合したツイストペアケーブルを使用する 規格に適合したケーブルで接続しないと、火災・故障の原因になります。</p>
指示	

お使いのときは

	<p>●異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●電源コード・AC アダプターは傷つけない</p> <p>●PoE・PoH 給電を使用するときは、ツイストペアケーブルを傷つけない</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工したり、過熱したりしない 引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・AC アダプターが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
禁止	
	<p>●修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
分解禁止	
	<p>●雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない 感電の原因になります。</p>
接触禁止	
	<p>●電源プラグのほこりやゴミは拭き取る 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>
指示	

もしものときは

	<p>●煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因になります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
プラグを抜く	



注意

設置・接続するときは

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。 ●ほこり・油煙・湿気の多い場所に置かない ほこりの多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。 ●通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。 ●本体の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。 ●コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
 <p>ぬれ手禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 <p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。 ●海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。 ●ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。 また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。 ●ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にしないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。

お使いのときは

 <p>高温面注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●高温面に触れない 十分な空間を確保せず設置すると、他の機器の動作不良の原因になります。 高温面に触れるとやけどの原因になります。
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●付属の電源コード・AC アダプター以外のものは使用しない ●付属の電源コード・AC アダプターは本製品専用のため、他の製品には使用しない 不適合により、火災・感電の原因になります。
 <p>プラグを抜く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。 ●お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜く 感電の原因になります。
 <p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●放熱を妨げない 冷却用のファンを使って内部の熱を放出しています。 ファンが停止した場合は、電源を切り、弊社営業部までお問い合わせください。 ファンが停止した状態で使用を続けると、内部の温度が上昇し、故障・火災・感電の原因になります。 ●定期的に清掃する 通風孔や冷却用のファン付近にほこりが付着すると、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。 また、長年のご使用で内部にほこりがたまると、火災・感電や故障の原因となることがありますので、定期的に内部の清掃を行うことをお勧めします。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃につきましては、弊社営業部までお問い合わせください。

目次

本書について	8
表記と記載	8
本機について	9
付属品	9
各部の名称	10
設置時の注意点	12
外部機器との接続	13
HDMI 機器を接続する	13
10GbE 機器を接続する	14
HDBaseT 機器を接続する	15
アナログ音声機器を接続する	16
制御機器を接続する	17
アドバンスドメニューの表示	18
フロントパネルの操作	19
本機を起動する	19
本機をスタンバイ状態にする	19
メニューを操作する	20
映像や音声を切り換える	21
ファンクションボタンに機能を割り当てる	22
フロントパネルボタンの誤操作を防止する	23
WEB ブラウザーの操作	24
WEB GUI を表示する	24
WEB ブラウザーを使用して本機の設定を変更する	25
WEB ブラウザーを使用して本機を制御する	26
WEB GUI で表示する名称を編集する	27
WEB GUI のログイン機能を使用する	28
WEB GUI にログインする	30
WEB GUI からログアウトする	31
映像の設定	32
出力解像度を変更する	33
表示位置を調整する	34
表示サイズを調整する	35
入力映像をフルで表示する	36
入力映像をドットバイドットで表示する	38
HDCP 非対応のシンク機器に映像を表示する	39
Deep Color の入力を有効にする	40
Deep Color の出力を有効にする	41
テストパターンを出力する	42
音声の設定	43
音声レベルを調整する	43
アナログ入力音声を出力する	44
アナログ音声出力コネクタの出力音声を選択する	44
マルチチャンネル音声の入力を有効にする	45
マルチチャンネル音声の出力を有効にする	46
マルチチャンネル入力音声をダウンミックスして出力する	47
圧縮音声の入力を有効にする	48
テストトーンを出力する	49

EDID の設定	50
EDID を選択する.....	50
内蔵 EDID の対応解像度情報を変更する	51
シンク機器の EDID をコピーする	52
2 画面合成映像の表示	53
PinP ウィンドウを表示する	53
PinP ウィンドウの映像を切り換える.....	54
レイアウトを切り換える	56
ビットマップの表示	58
ビットマップファイルを保存する.....	59
ビットマップを表示する	60
入力チャンネルに OFF を選択したときにビットマップを表示する	61
入力映像信号がないときにビットマップを表示する.....	62
入力チャンネル自動切換の設定	63
入力チャンネルを自動で切り換える	63
自動切換の連続実行を防止する	65
通信の設定	66
RS-232C 通信を設定する	66
LAN 通信を設定する.....	67
プロジェクターの電源制御	68
RS-232C 通信で制御する	68
PLink(LAN 通信)で制御する	72
スクリーンの制御	77
コンタクトクローザーで制御する	77
ステータスの確認	80
入力信号の状態を確認する.....	80
出力信号の状態を確認する.....	81
シンク機器の EDID を確認する	82
ユーザープリセットの保存と呼び出し	83
本機の設定を保存する	83
本機の設定を呼び出す	84
クロスポイントを保存する.....	85
クロスポイントを呼び出す	86
レイアウトを保存する	87
レイアウトを呼び出す	88
起動時にユーザープリセットを呼び出す	89
設定のバックアップとリストア	90
バックアップファイルを保存する.....	90
バックアップファイルから設定をリストアする	91
初期化	92
すべての設定を初期化する.....	92
通信設定以外を初期化する	93
その他の機能	94
シンク機器のスタンバイ機能を利用する	94
正常に動作しないときは	95

本書について

本書では外部機器との接続方法、基本操作方法、機能の使用方法、設定方法、および注意事項について説明しています。

2 系統出力 MSD-V42U/V42UC/V42UT の機能内容を記載しています。設定可能なメニューは、機種によって異なります。

操作説明ではフロントパネルのボタンを使用する方法を記載し、補足として WEB GUI を記載しています。WEB ブラウザーからのみ行うことができる操作は、WEB ブラウザーを使用する操作方法を記載していません。

表記と記載

- ・ 以下の用語を使用しています。
 - PC : パーソナルコンピューター
 - WEB GUI : WEB ブラウザーで表示する GUI (グラフィックユーザーインターフェース)
 - OUT A : OUT 1A コネクタまたは OUT 2A コネクタ
 - OUT B : OUT 1B コネクタまたは OUT 2B コネクタ
 - OUT 1 : OUT 1A と OUT 1B に分配する出力チャンネル
 - OUT 2 : OUT 2A と OUT 2B に分配する出力チャンネル
 - INOFF : 入力チャンネル OFF
- ・ 以下の記号を使用しています。
 - [] : フロントディスプレイと WEB GUI に表示されるメニュー名およびメッセージ
 - “ ” : 参照先
- ・ 注記を以下のように区別しています。
 - Note** : 操作に関連する制限事項や十分に注意していただきたいこと
 - Tip** : 操作に関連する補足説明や役立つ情報

本機について

MSD-V41U/V42U/V41UC/V42UC/V41UT/V42UT は、スキャンコンバーター内蔵のデジタルマルチスイッチャーです。

映像入力は HDMI 4 系統です。入力された映像信号は最大 4K@60 に変換し、HDMI 信号で出力します。

MSD-V41UC/V42UC は、HDMI と 10GbE(SDVoE)に 2 分配出力します。MSD-V41UT/V42UT は、HDMI と HDBaseT に 2 分配出力します。

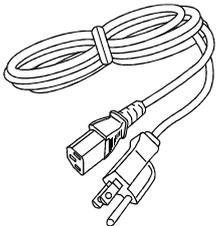
音声入力 は HDMI 4 系統とアナログ音声 1 系統です。入力された音声信号は、デジタル音声とアナログ音声に分配出力します。

LAN と RS-232C から本機を遠隔操作できます。LAN、RS-232C、CEC、またはコンタクトクローザーに接続された外部機器を制御できます。

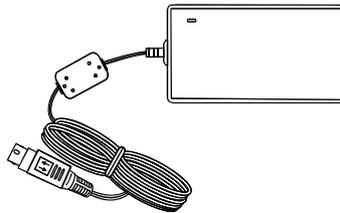
付属品

付属品がすべてそろっているか確認してください。

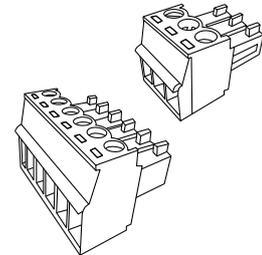
万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、弊社の本社営業部または各営業所にご連絡ください。



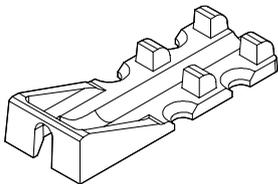
電源コード (1.8 m) × 1



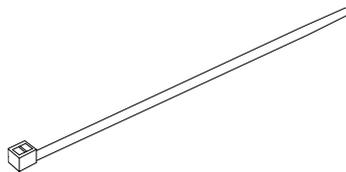
専用 AC アダプター (1.2 m) × 1



ターミナルブロック (3 ピン) × 3
ターミナルブロック (6 ピン) × 1



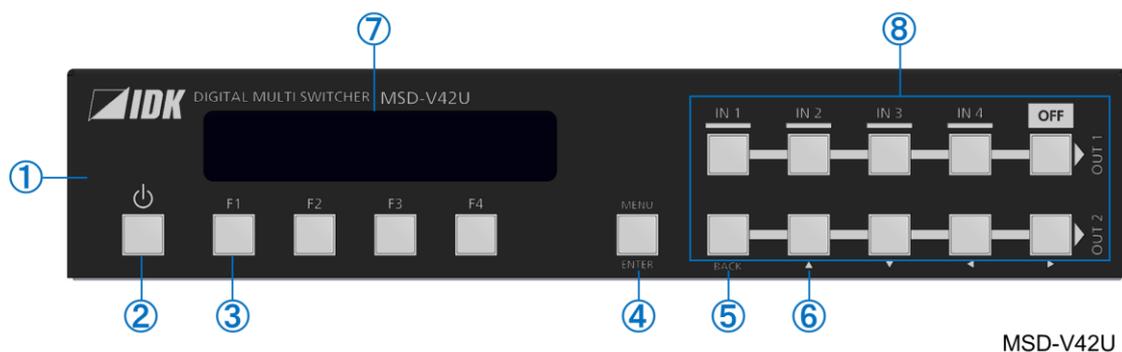
ケーブル固定ブラケット
MSD-V41U/UC/UT × 5
MSD-V42U/UC/UT × 6



結束バンド
MSD-V41U/UC/UT × 5
MSD-V42U/UC/UT × 6

各部の名称

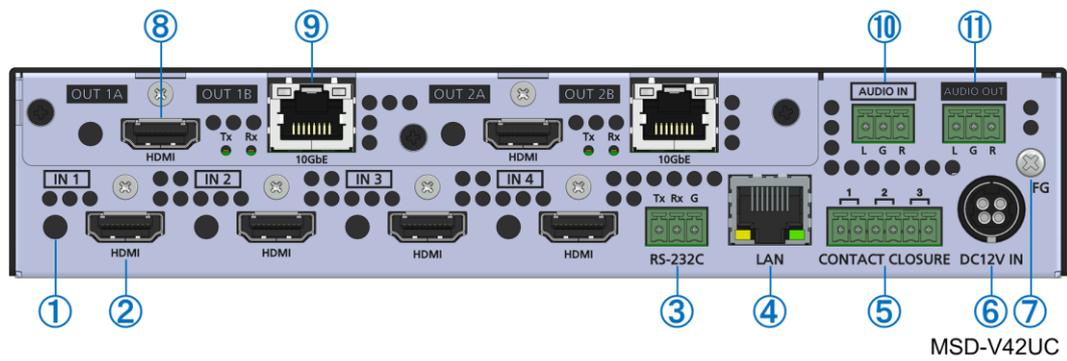
前面



MSD-V42U

①	フロントパネル 本機を操作するためのボタンおよびフロントディスプレイが配置されています。
②	電源ボタン (⏻ ボタン) 本機を起動またはスタンバイにします。
③	ファンクションボタン (F ボタン) 割り当てられた機能を実行します。
④	MENU/ENTER ボタン メニューをフロントディスプレイに表示します。 メニューを選択し、設定を決定します。 メニュー表示時にメニュー階層を進みます。
⑤	BACK ボタン メニュー表示時にメニュー階層を戻ります。
⑥	上下左右ボタン (△▽◀▶) メニュー表示時にメニューの切り換え、カーソルの移動、および設定値の変更をします。
⑦	フロントディスプレイ メニュー、設定対象、および設定値を表示します。
⑧	入力チャンネル選択ボタン 入力チャンネルを選択します。

背面



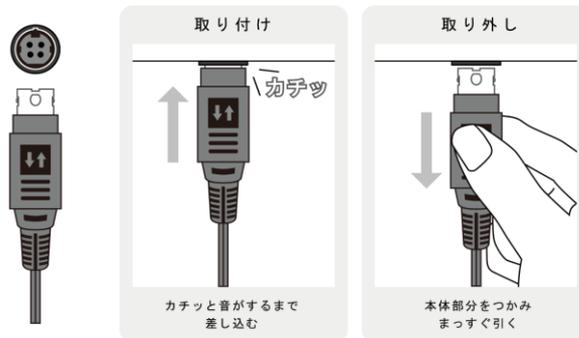
MSD-V42UC

①	コードクランプ固定穴 (未使用)
②	HDMI 入力
③	RS-232C
④	LAN
⑤	コンタクトクロージャ
⑥	DC 入力
⑦	フレームグラウンド (M4 ねじ)
⑧	HDMI 出力
⑨	MSD-V41UC/V42UC : 10GbE 出力 MSD-V41UT/V42UT : HDBaseT 出力 MSD-V41U/V42U : 非搭載
⑩	アナログ音声入力
⑪	アナログ音声出力

設置時の注意点

設置するときの注意について説明します。

- ・ 本機の FG(フレームグランド)端子を屋内のアース端子に接続してください。電位差による機器の故障や障害を軽減します。
- ・ 本体内部の温度が上昇し、部品の寿命や本機の動作などに影響を及ぼすおそれがあるため、以下の点にご注意ください。
 - 本機を積み重ねて使用しないでください。
 - 本体の開口穴は通風孔です。通風孔はふさがないでください。
 - 周囲 30 mm 以上の空間を確保してください。
 - 使用温度範囲は、0°C ~ +40°C です。
 - 弊社の取付金具(別売)を使用する場合は、取付金具の取扱説明書を参照してください。
- ・ AC アダプターの DC プラグは、カチッと音がするまで本機の DC 入力端子に差し込んでください。AC 電源は、すべてのケーブルを接続した後に投入してください。また、DC 入力端子から DC プラグを抜く場合は、DC プラグの本体部分をつかんでまっすぐ引き抜いてください。



外部機器との接続

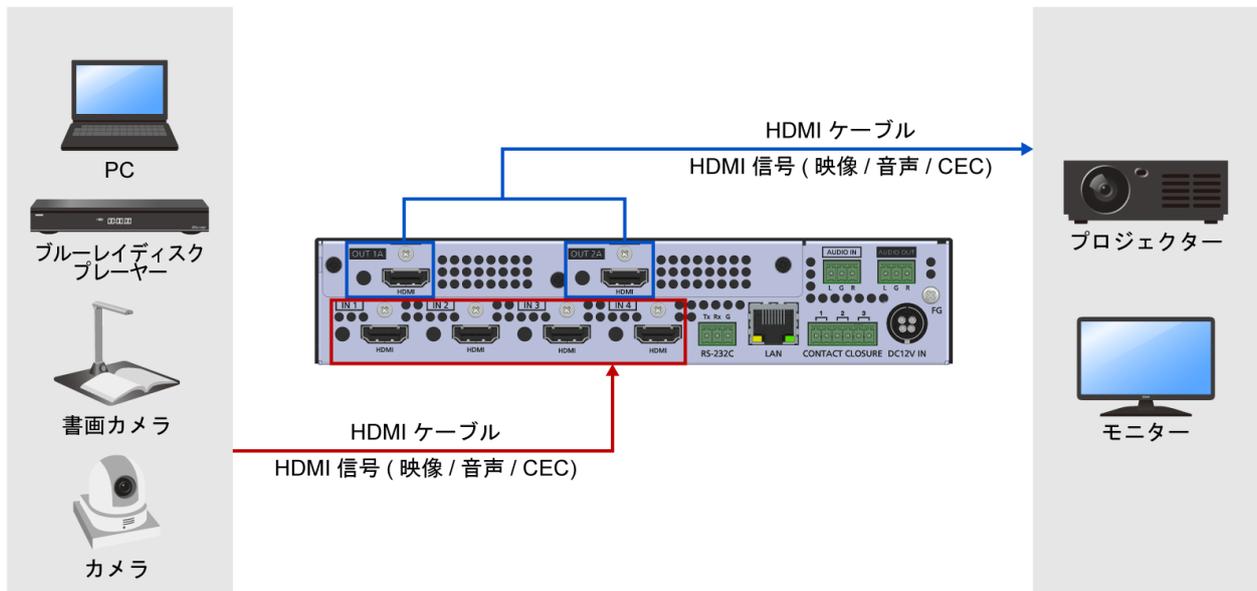
入力機器や出力機器、制御機器などとの接続について説明します。

Notes

- ・ ケーブルを接続する前に、身体の帯電を除去してから作業をしてください。
- ・ すべての機器の電源を遮断した状態で接続してください。
- ・ コネクタおよびケーブルにストレスを与えないように敷設してください。

HDMI 機器を接続する

本機と HDMI 機器を HDMI ケーブルで接続します。

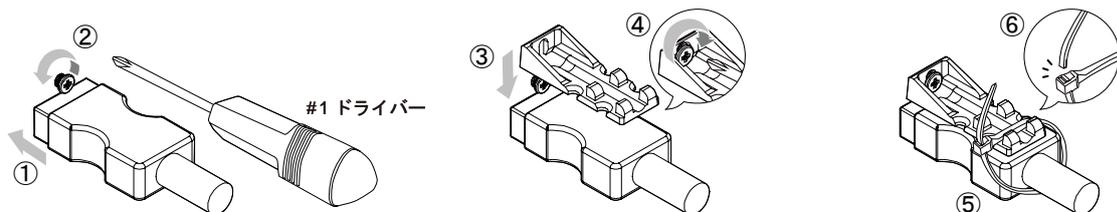


Notes

- ・ ケーブルの種類、品質、敷設状態、接続する機器、および設置状況などにより、映像が乱れることや出力されないことがあります。
- ・ ケーブルジョイントなどを使用して HDMI ケーブルを延長した場合は、映像が乱れることや出力されないことがあります。

ケーブル固定ブラケット(FB-01 弊社製品専用)で HDMI ケーブルを固定する

HDMI ケーブルの抜け落ち防止のため、HDMI ケーブルをケーブル固定ブラケットと結束バンドで以下のよう固定してください。



- ① HDMI ケーブルを HDMI コネクタに接続する。
- ② HDMI コネクタ上部のねじを緩める (6 回転程度)。
- ③ 固定ブラケットを HDMI コネクタ上部のねじに引っ掛け、固定ブラケットを HDMI ケーブルに密着させる。
- ④ ねじを締めて固定ブラケットを固定する (締めすぎに注意)。
- ⑤ 固定ブラケットと HDMI ケーブルの根本を結束バンドで締める。
- ⑥ 余った部分をカットする。

10GbE 機器を接続する

本機と弊社 10GbE(SDVoE)機器(デコーダー)または 10GbE スイッチをツイストペアケーブル(CAT6A)で接続します。



Notes

- ・ 10GbE スイッチに接続し、SDVoE 信号をネットワーク経由で伝送する場合は、IP-NINJAR マネジメントプラットフォーム(NJR-CTB)からの制御が必要です。
- ・ CAT6A(10GBase-T)対応のケーブルジョイントを 2 か所まで使用できますが、最大延長距離が約 10% 短くなることがあります。

ツイストペアケーブル(CAT6A)の注意点

- ・ 安定した映像伝送性能を発揮させるために、以下の点にご注意ください。
 - コネクタまでシールドされている STP ケーブルを使用してください。
 - 本機および接続機器の FG(フレームグランド)端子を屋内のアース端子に接続してください。
- ・ コネクタのピン配列は、T568A または T568B のストレート結線にしてください。
- ・ ツイストペアケーブルを強く引っ張らないでください。
- ・ ツイストペアケーブルの曲げ半径は、ケーブル外径の 4 倍以上にしてください。
- ・ ツイストペアケーブルを固定する場合の結束は、結束バンド内でケーブルが緩く動く程度とし、強く締め付けしないでください。
- ・ 複数のツイストペアケーブルを並列に敷設する場合は、ケーブル間の距離をあけて、ケーブル同士が平行にならないように、ケーブルを蛇行させて敷設してください。
- ・ ツイストペアケーブルは、輪にして巻いた状態にすると、外来ノイズの干渉を受けやすくなります。

HDBaseT 機器を接続する

本機と HDBaseT 機器をツイストペアケーブル(CAT5e/CAT6)で接続します。



Notes

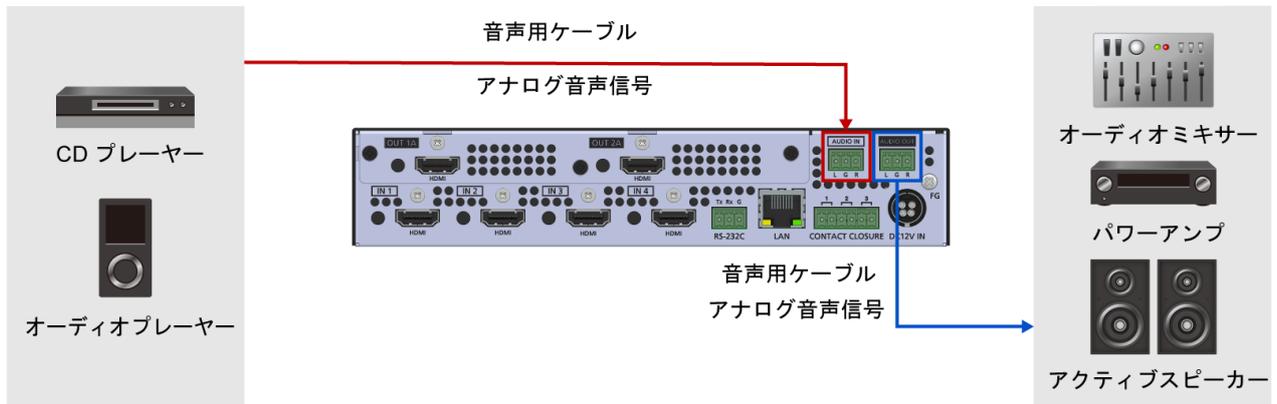
- ・ HDBaseT コネクタは、イーサネット機器などで使用される RJ-45 コネクタと形状は同じですが、伝送方式が異なるため、イーサネット機器と接続することはできません。
- ・ CAT6A(10GBase-T)対応のケーブルジョイントを 2 か所まで使用できますが、最大延長距離が約 10% 短くなる場合があります。

ツイストペアケーブル(CAT5e/CAT6)の注意点

- ・ 安定した映像伝送性能を発揮させるために、以下の点にご注意ください。
 - コネクタまでシールドされている STP ケーブルを使用してください。
 - 本機および接続機器の FG(フレームグランド)端子を屋内のアース端子に接続してください。
- ・ コネクタのピン配列は、T568A または T568B のストレート結線にしてください。
- ・ ツイストペアケーブルを強く引っ張らないでください。
- ・ ツイストペアケーブルの曲げ半径は、ケーブル外径の 4 倍以上にしてください。
- ・ ツイストペアケーブルを固定する場合の結束は、結束バンド内でケーブルが緩く動く程度とし、強く締め付けしないでください。
- ・ 複数のツイストペアケーブルを並列に敷設する場合は、ケーブル間の距離をあけてケーブル同士が平行にならないように、ケーブルを蛇行させて敷設してください。
- ・ ツイストペアケーブルは輪にして巻いた状態にすると、外来ノイズの干渉を受けやすくなります。

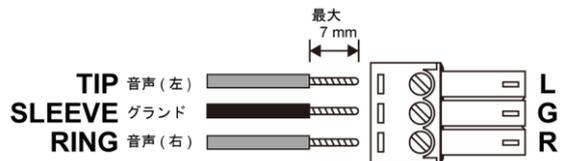
アナログ音声機器を接続する

本機とアナログ音声機器を音声用ケーブルで接続します。



Tip

ターミナルブロックと音声用ケーブルは、以下のように接続してください。

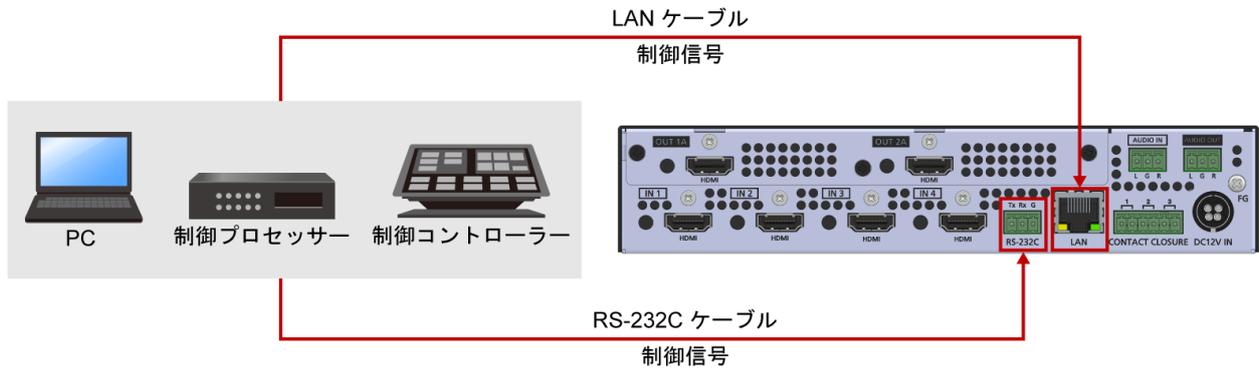


推奨ケーブル : AWG 28 ~ AWG 16

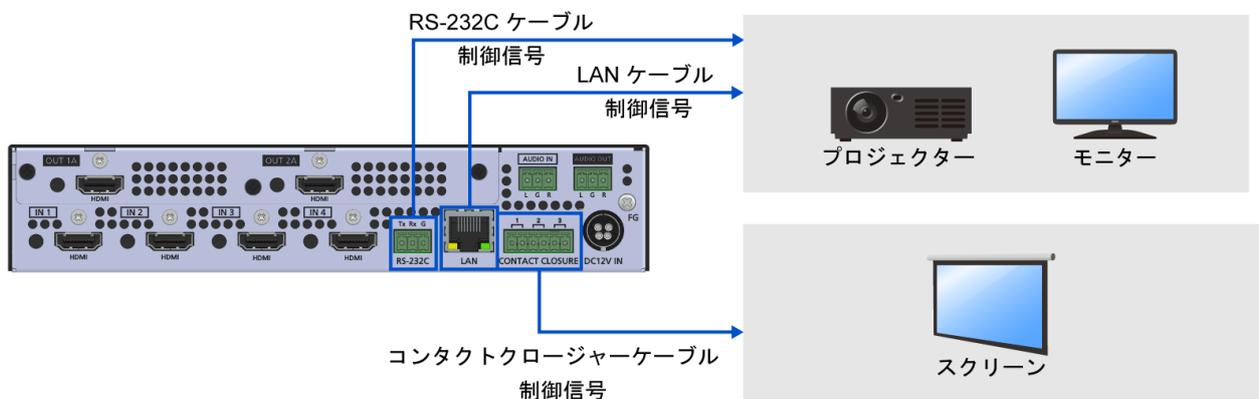
最大剥き線長さ: 7 mm

制御機器を接続する

外部機器から本機を制御する場合は、本機と外部機器を制御用ケーブルで接続します。



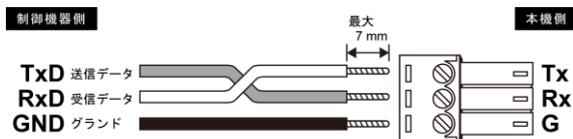
本機から外部機器を制御する場合は、本機と外部機器を制御用ケーブルで接続します。



Tip

ターミナルブロックと制御用ケーブルは、以下のように接続してください。

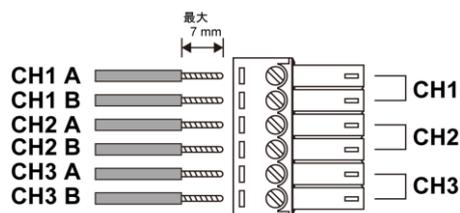
RS-232C ケーブル



推奨ケーブル : AWG 28 ~ AWG 16

最大剥き線長さ: 7 mm

コンタクトクロージャークォネクターケーブル



推奨ケーブル : AWG 28 ~ AWG 16

最大剥き線長さ: 7 mm

アドバンストメニューの表示

本機のメニューは、使用頻度の高いベーシックメニューと、より詳細な設定ができるアドバンストメニューで構成されています。初期値では表示されないアドバンストメニューを表示する方法について説明します。

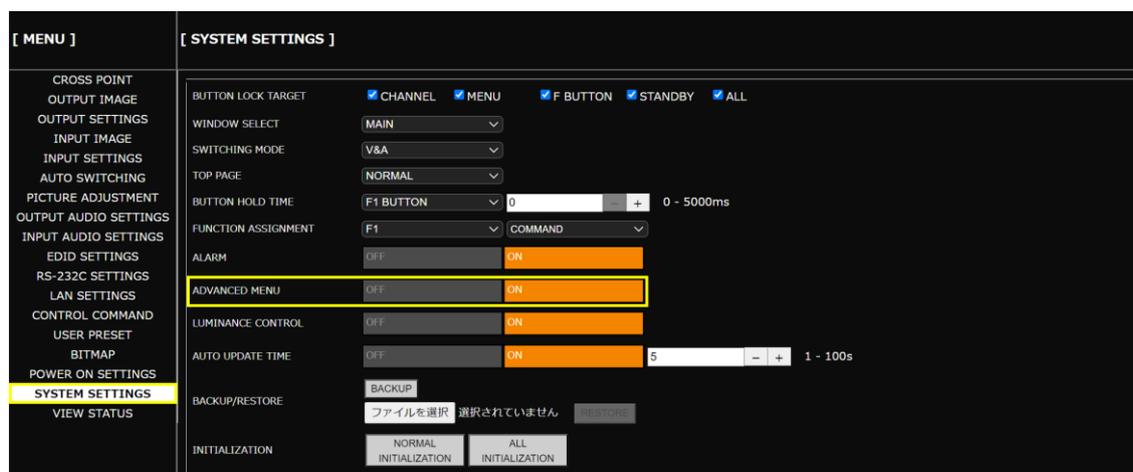
本書では、アドバンストメニューを用いる操作タイトルの右下に、以下の表示をしています。

アドバンスト

フロントパネル

1. [SYSTEM SETTINGS]→[ADVANCED MENU]を選択します。
2. [ON]を選択します。

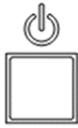
WEB GUI



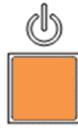
フロントパネルの操作

フロントパネルのボタンの機能、使用方法、およびボタンロックについて説明します。

本機の起動状態は、電源ボタンの点灯状態で確認できます。



消灯: 電源なし



点灯 (橙色): スタンバイ

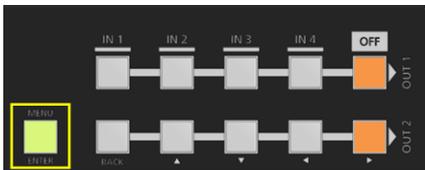


点灯 (緑色): 起動

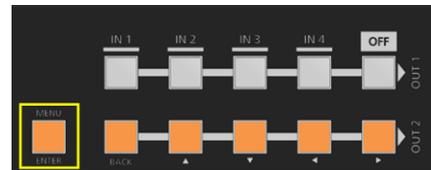
Note

電源の投入は、すべてのケーブルを接続した後に行ってください。

MENU/ENTER ボタンまたは BACK ボタンを押すと、実行可能な操作が切り換わります。実行可能な操作は、MENU/ENTER ボタンの点灯色で確認できます。



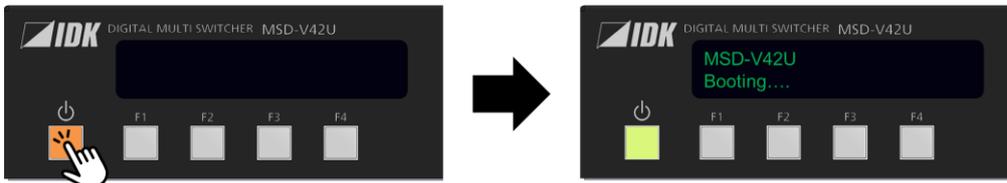
緑色に点灯: 入力チャンネル選択が可能



橙色に点灯: メニュー操作が可能

本機を起動する

1. 電源ボタンを押して起動します。
起動すると、電源ボタンが緑色に点灯します。

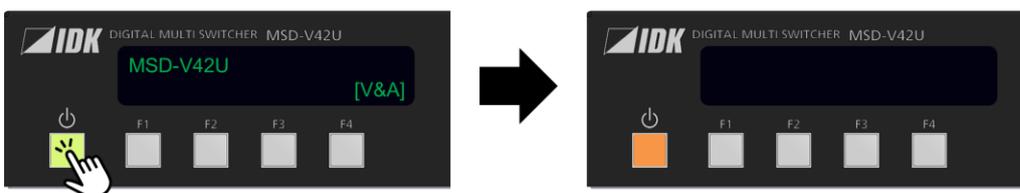


Notes

- ・ 起動から操作を受け付けるまでにかかる時間は、最長 12 秒です。
- ・ 電源ボタンが消灯しているときは、AC アダプターを接続して電源を投入してください。

本機をスタンバイ状態にする

1. 電源ボタンを 1 秒間長押しして、スタンバイ状態にします。
スタンバイ状態になると、電源ボタンが橙色に点灯します。



メニューを操作する

メニュー操作に使用するボタンは、MENU/ENTER ボタン、BACK ボタン、および上下左右ボタン(△▽◀▶)です。点灯しているボタンのみ操作可能です。

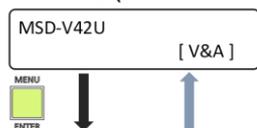
メニューは階層構造になっています。MENU/ENTER ボタンを押すと次の階層に進み、BACK ボタンを押すとひとつ前の階層に戻ります。

△▽◀▶ボタンを使用し、メインメニュー、サブメニュー、および設定値を選択します。

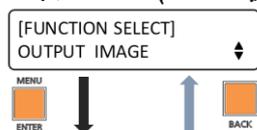
MENU/ENTER ボタンが点滅している場合は、MENU/ENTER ボタンを押して、設定を更新します。

トップ画面に機種名を表示している場合

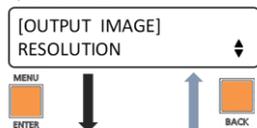
トップ画面(入力チャンネル選択)



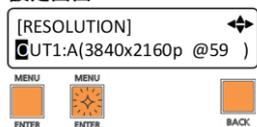
メインメニュー(メニュー操作)



サブメニュー

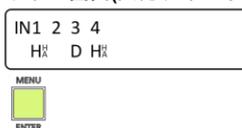


設定画面

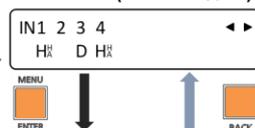


トップ画面に機種名以外を表示している場合

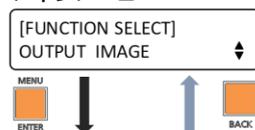
トップ画面(入力チャンネル選択)



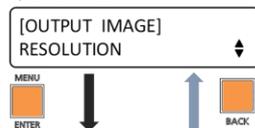
トップ画面(メニュー操作)



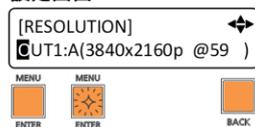
メインメニュー



サブメニュー



設定画面



Tip

初期値では、使用頻度の高いベーシックメニューが表示されます。より詳細な設定ができるアドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.18)”を参照してください。

映像や音声を切り換える

- 出力する入力チャンネルの入力チャンネル選択ボタンを押します。
フロントディスプレイの右下に表示されているスイッチングモードに応じて映像や音声が切り換わります。



- [V&A] : 映像と音声が同時に切り換わる
- [VIDEO] : 映像のみが切り換わる
- [AUDIO] : 音声のみが切り換わる

選択している信号は、入力チャンネル選択ボタンの点灯色で確認できます。

- 点灯 (橙色) : 映像と音声が選択されている
- 点灯 (緑色) : 映像のみが選択されている
- 点灯 (赤色) : 音声のみが選択されている

映像と音声を同時に切り換える

- [SYSTEM SETTING]→[SWITCHING MODE]を選択します。
- [V&A]を選択します。
- BACK ボタンを押して、MENU/ENTER ボタンが緑色に点灯するまでメニュー階層を戻ります。
入力チャンネル選択が可能になると、MENU/ENTER ボタンが緑色に点灯します。
- 任意の入力チャンネル選択ボタンを押すと映像と音声が同時に切り換わります。
以下は、OUT1 に IN2 を選択し、OUT2 に IN3 を選択して、映像と音声を同時に切り換える場合の例です。



映像と音声を個別に切り換える

- [SYSTEM SETTING]→[SWITCHING MODE]を選択します。
- 切り換える信号を選択します。
[VIDEO] : 映像のみを切り換える
[AUDIO] : 音声のみを切り換える
- BACK ボタンを押して、MENU/ENTER ボタンが緑色に点灯するまでメニュー階層を戻ります。
入力チャンネル選択が可能になると、MENU/ENTER ボタンが緑色に点灯します。
- 任意の入力チャンネル選択ボタンを押すと[SWITCHING MODE]で設定した信号が切り換わります。
以下は、OUT1 に IN4 の音声をを選択し、音声のみを切り換える場合の例です。



ファンクションボタンに機能を割り当てる

1. [SYSTEM SETTING]→[FUNCTION ASSIGNMENT]を選択します。
2. 設定するファンクションボタンを選択します。
3. ファンクションボタンを押したときに実行する機能を選択します。
 - [COMMAND] : 制御コマンドボタンとして、ファンクションボタンに関連付けた制御コマンドを実行します。
 - [DISPLAY POWER] : シンク機器の電源制御用ボタンとして、ファンクションボタンに関連付けた制御コマンドを実行します。
 - [PATTERN] : 本機に保存したパターンメモリーを順番に呼び出します。
 - [WINDOW SELECT] : 入力チャンネル選択ボタンを押したときに入力チャンネルを変更するウィンドウを、メインウィンドウまたは PinP ウィンドウに切り換えます。
 - [CROSSPOINT] : 本機に保存したクロスポイントメモリーを呼び出します。
 - [PRESET MEMORY] : 本機に保存したプリセットメモリー呼び出します。

Notes

- ・ [COMMAND]を割り当てた場合は、制御コマンド実行中にフロントボタンは操作できません。
- ・ [DISPLAY POWER]を割り当てた場合は、制御コマンド実行中でも[DISPLAY POWER]を割り当てているファンクションボタンは実行できます。

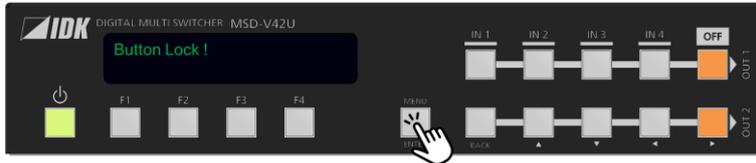
Tips

- ・ ファンクションボタンでプロジェクターの電源制御をする場合は、“**プロジェクターの電源制御 (P.68)**”を参照してください。
- ・ ファンクションボタンでスクリーンを制御する場合は、“**スクリーンの制御 (P.77)**”を参照してください。
- ・ パターンメモリー、クロスポイントメモリー、およびプリセットメモリーについては、“**ユーザープリセットの保存と呼び出し (P.83)**”を参照してください。
- ・ 制御コマンドの詳細は、テクニカルガイドを参照してください。

フロントパネルボタンの誤操作を防止する

フロントパネルボタンをロックする

1. MENU/ENTER ボタンを 2 秒間長押しします。
ロックされると、フロントディスプレイに[Button Lock !]と表示されます。



Tip

電源ボタンおよび入力チャンネル選択ボタン以外のロックされたボタンは消灯します。

フロントパネルボタンのロックを解除する

1. MENU/ENTER ボタンを 2 秒間長押しします。
ロックが解除されると、フロントディスプレイに[Button Lock Release !]と表示されます。



フロントパネルボタンのロック対象を選択する

1. [SYSTEM SETTINGS]→[BUTTON LOCK TARGET]を選択します。
2. ロックするボタン(グループ)を[LOCK]に設定し、ロックしないボタンを[UNLOCK]に設定します。
 [STANDBY] : 電源ボタン
 [F BUTTON] : ファンクションボタン
 [CHANNEL] : 入力チャンネル選択ボタン
 [MENU] : MENU/ENTER ボタン

Tip

ファンクションボタンにはロック以外の誤操作防止として、長押し時間を設定できます。
詳細は、テクニカルガイドを参照してください。

WEB ブラウザーの操作

本機は WEB サーバーを内蔵しているため、WEB GUI で本機の制御や状態の確認ができます。
接続した PC の WEB ブラウザーを使用して本機を制御する方法について説明します。

WEB GUI を表示する

1. 本機に接続する PC のネットワークを設定します。
本機の IP アドレスが初期値の場合は、PC のインターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)を設定します。
例
IP アドレス : 192.168.1.100
サブネットマスク : 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ: 空欄
2. 本機の LAN コネクタと PC を接続します。
3. PC 上で WEB ブラウザーを起動します。
4. WEB ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力します。
本機の IP アドレスが初期値の場合は、**http://192.168.1.199** と入力します。

Note

WEB GUI を表示するには、WEB ブラウザーの JavaScript が有効になっている必要があります。

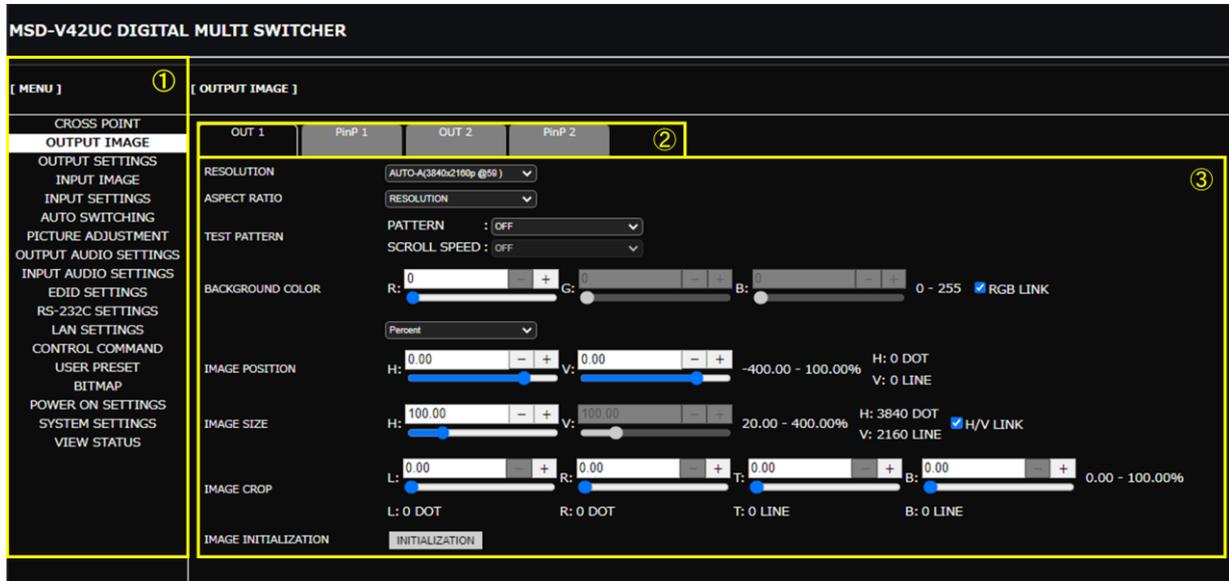
Tip

本機の IP アドレスを設定または確認する場合は、“**LAN 通信を設定する (P.67)**”を参照してください。

WEB ブラウザーを使用して本機の設定を変更する

アドバンスト

1. メインメニューを選択します(①)。
2. 設定対象を選択します(②)。
3. 設定値を設定します(③)。

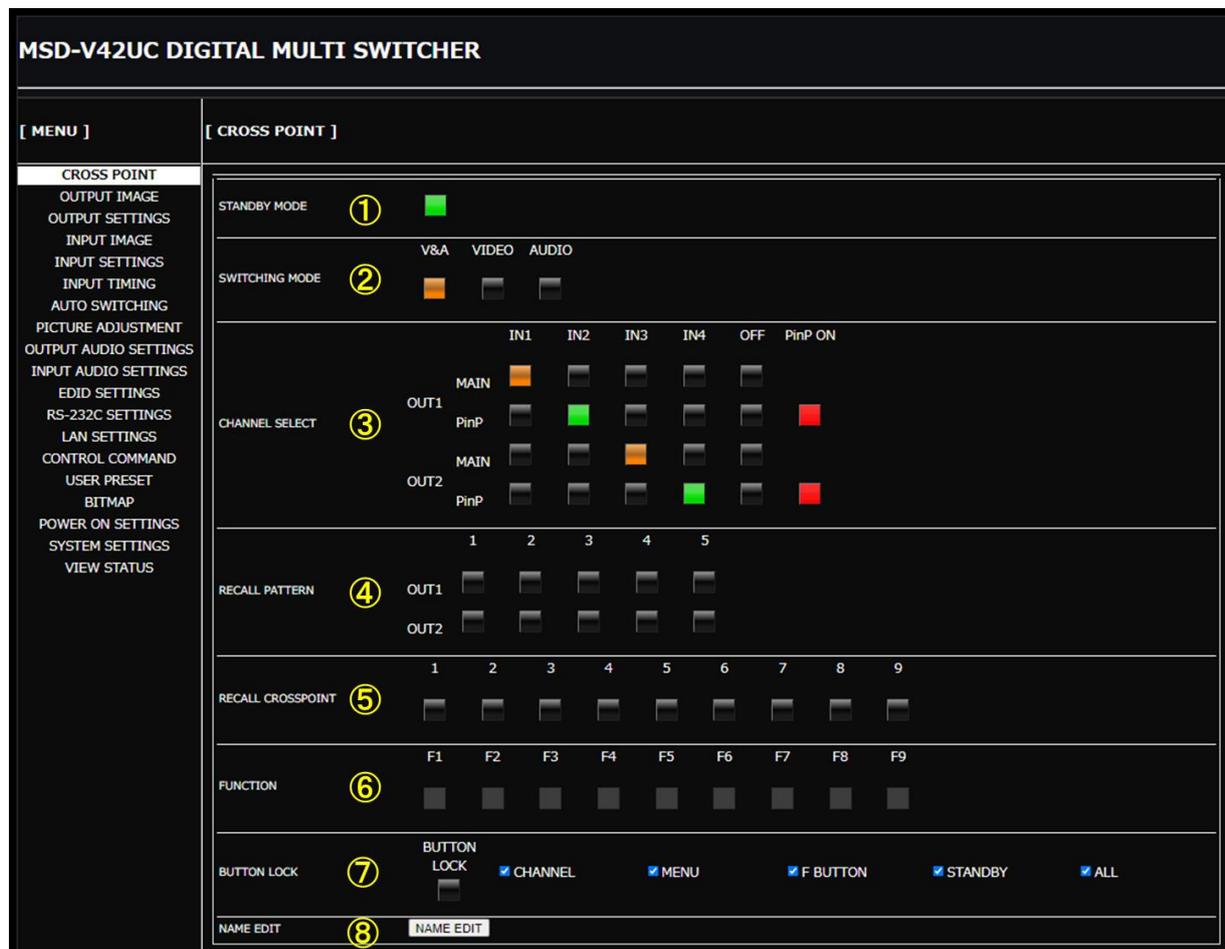


Tip

初期値では、使用頻度の高いベーシックメニューが表示されます。より詳細な設定ができるアドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.18)」を参照してください。

WEB ブラウザーを使用して本機を制御する

1. [MENU]→[CROSS POINT]を選択します。
2. 制御する項目を設定します。



番号	サブメニュー	操作
①	[STANDBY MODE]	本機の起動状態を切り換えます。
②	[SWITCHING MODE]	入力映像や音声チャンネルを選択します。 WEB GUI の CHANNEL SELECT(③)からの操作にのみ有効な設定です。
③	[CHANNEL SELECT]	入力チャンネルを選択し、映像や音声を切り換えます。 PinP ウィンドウの表示/非表示を選択します。
④	[RECALL PATTERN]	本機に保存したパターンメモリーを呼び出します。
⑤	[RECALL CROSSPOINT]	本機に保存したクロスポイントメモリーを呼び出します。
⑥	[FUNCTION]	ファンクションボタンに割り当てた機能を実行します。
⑦	[BUTTON LOCK]	ボタンのロック/解除およびボタンロックの対象を選択します。
⑧	[NAME EDIT]	WEB GUI で表示する入力チャンネルなどの名称を編集します。

WEB GUI で表示する名称を編集する

1. [MENU]→[CROSS POINT]を選択します。
2. [NAME EDIT]を選択します。
3. [NAME EDIT]画面で名称を半角英数字で入力します。

INPUT1	IN1
INPUT2	IN2
INPUT3	IN3
INPUT4	IN4
OUTPUT1	OUT1
OUTPUT2	OUT2
FUNCTION1	F1
FUNCTION2	F2
FUNCTION3	F3
FUNCTION4	F4
FUNCTION5	F5
FUNCTION6	F6
FUNCTION7	F7
FUNCTION8	F8
FUNCTION9	F9
DEVICE	MSD-V42UC DIGITAL MUL

①入力チャンネル名称
最大 10 文字

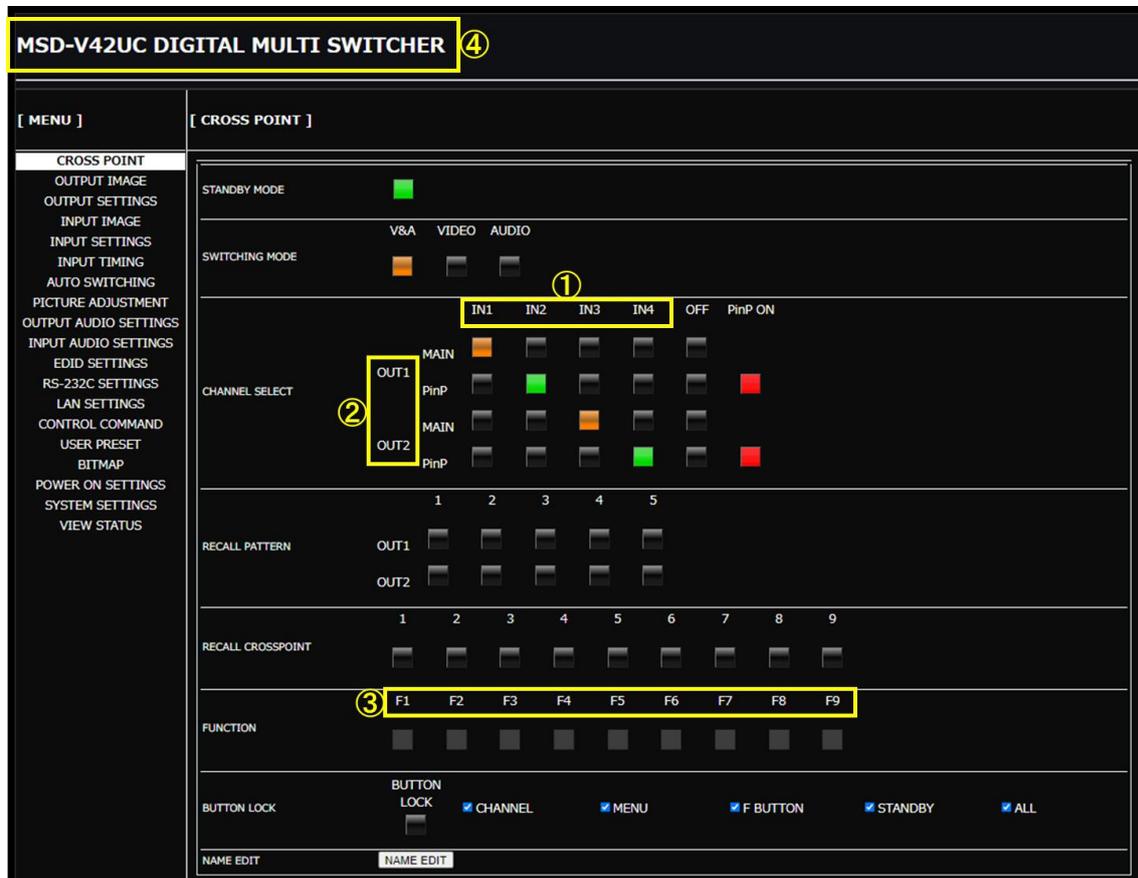
②出力チャンネル名称
最大 10 文字

③ファンクションボタン名称
最大 10 文字

④本機の名称
最大 40 文字

4. [×]を押します。

[NAME EDIT]画面が閉じて、編集した名称が表示されます。

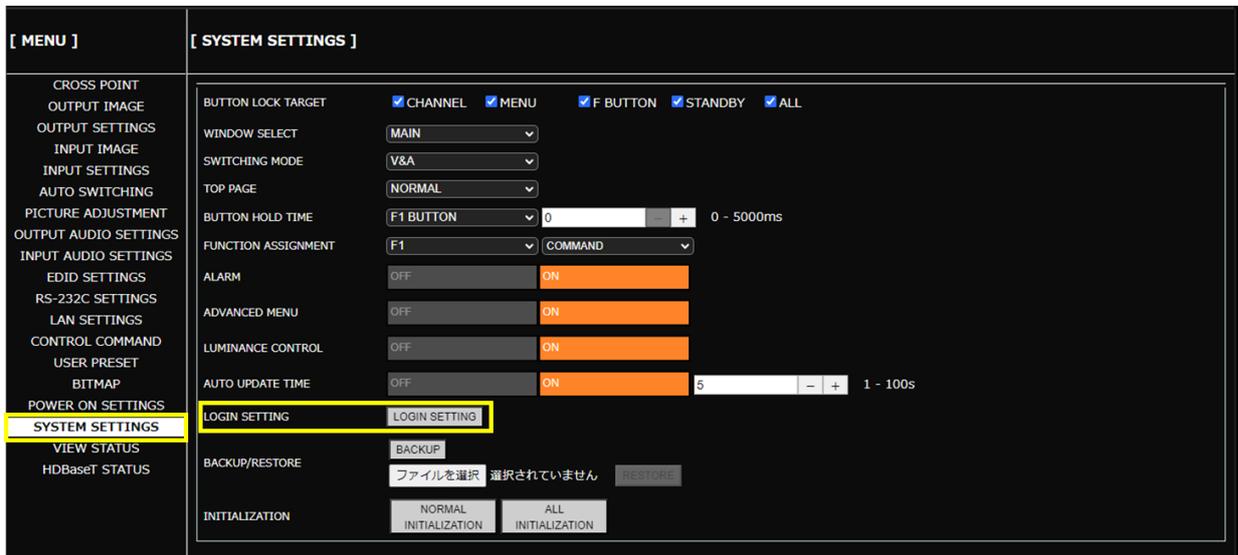


WEB GUI のログイン機能を使用する

アドバンスト

本機の WEB GUI にアクセスするとき、ユーザー名およびパスワードを用いたログイン機能を使用すると、外部からのアクセス制限やセキュリティーを強化することができます。

1. [SYSTEM SETTINGS]を選択します。
2. [LOGIN SETTING]の[LOGIN SETTING]ボタンを押します。



3. ログイン画面で、ユーザーID およびパスワードを入力し、[LOGIN]ボタンを押します。
ユーザー名: admin(初期値)
パスワード: admin(初期値)



4. ユーザーID およびパスワードを変更する場合は、ログイン設定画面で設定します。(変更しない場合はこの手順は省略できます。)

[NEW USER ID] : ASCII 30 ~ 39, 41 ~ 5A, 5F, 61 ~ 7A (0 ~ 9, A ~ Z, _, a ~ z)

[NEW PASSWORD] : ASCII 21 ~ 7D

[CONFIRM PASSWORD]: ASCII 21 ~ 7D

※すべて最大 24 文字

[LOGIN SETTING]

NEW USER ID

NEW PASSWORD SET

CONFIRM PASSWORD

LOGIN OFF ON

Note

初回設定時は、必ずユーザーID およびパスワードを変更してください。

5. [LOGIN]を[ON]にします。

[LOGIN SETTING]

NEW USER ID

NEW PASSWORD SET

CONFIRM PASSWORD

LOGIN OFF ON

6. ログイン状態になり、右上に[LOGOUT]ボタンが表示されます。

MSD-V42UC DIGITAL MULTI SWITCHER LOGOUT

[MENU] [SYSTEM SETTINGS]

CROSS POINT
OUTPUT IMAGE
OUTPUT SETTINGS
INPUT IMAGE
INPUT SETTINGS
AUTO SWITCHING
PICTURE ADJUSTMENT
OUTPUT AUDIO SETTINGS
INPUT AUDIO SETTINGS
EDID SETTINGS
RS-232C SETTINGS
LAN SETTINGS
CONTROL COMMAND
USER PRESET
BITMAP
POWER ON SETTINGS
SYSTEM SETTINGS
VIEW STATUS
HDbaseT STATUS

SYSTEM SETTINGS

BUTTON LOCK TARGET CHANNEL MENU F BUTTON STANDBY ALL

WINDOW SELECT MAIN

SWITCHING MODE VRA

TOP PAGE NORMAL

BUTTON HOLD TIME F1 BUTTON 0 0 - 5000ms

FUNCTION ASSIGNMENT F1 COMMAND

ALARM OFF ON

ADVANCED MENU OFF ON

LUMINANCE CONTROL OFF ON

AUTO UPDATE TIME OFF ON 0 1 - 100s

LOGIN SETTING LOGIN SETTING

BACKUP/RESTORE BACKUP
ファイルを選択 選択されていません

INITIALIZATION NORMAL ALL
INITIALIZATION INITIALIZATION

Notes

- ・複数のユーザーが同時にログインすることはできません。最後にログインしたユーザーのみログイン状態になります。
- ・一度ログインすると、ログアウトするかブラウザーを閉じるまでログイン状態を維持します。
- ・ユーザーID およびパスワードは、バックアップファイルに保存されません。
- ・ユーザーID およびパスワードは、初期化コマンド(@CLR,0)の実行時のみ初期化されます。

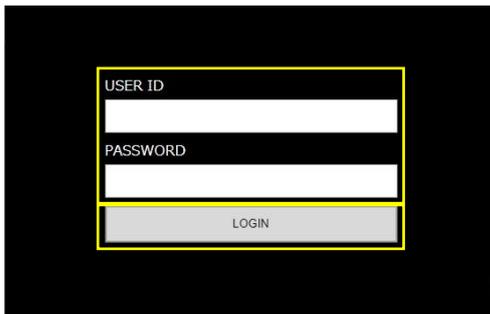
Tip

本メニューはアドバンスメニューです。アドバンスメニューの表示方法は、“アドバンスメニューの表示 (P.18)”を参照してください。

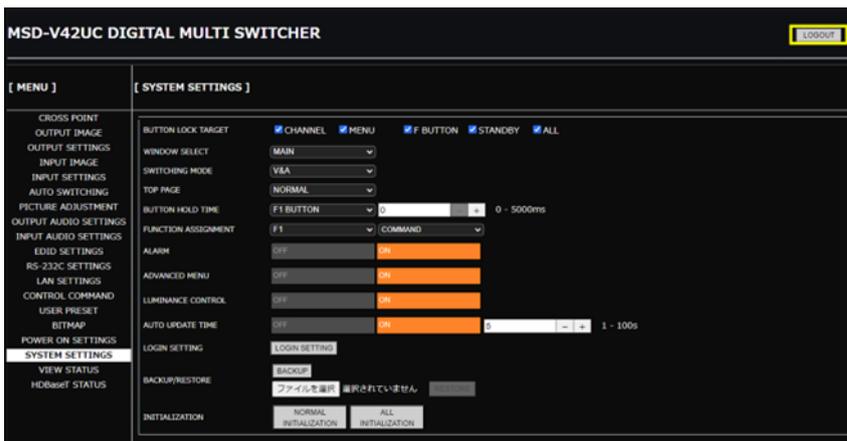
WEB GUI にログインする

WEB GUI のログイン機能が有効な場合、WEB GUI の操作にはユーザーID およびパスワードの入力が必要です。

1. WEB GUI にアクセスします。
2. ログイン画面で、ユーザーID およびパスワードを入力し、[LOGIN]ボタンを押します。
ユーザーID: admin(初期値)
パスワード: admin(初期値)

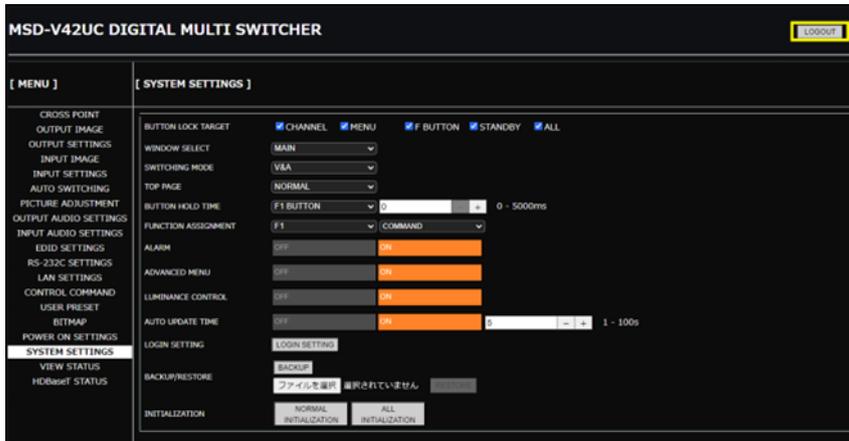


3. ログインに成功すると WEB GUI が表示され、右上に[LOGOUT]ボタンが表示されます。

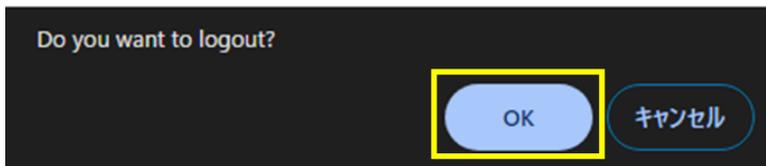


WEB GUI からログアウトする

1. 右上の[LOGOUT]ボタンを押します。



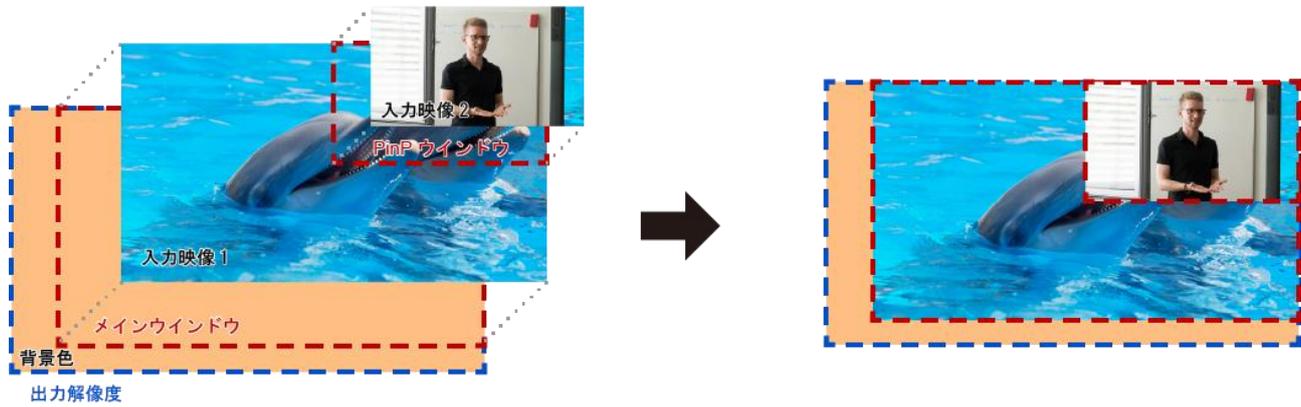
2. 確認メッセージが表示されたら、[OK]を選択します。



映像の設定

本機に入力された映像または本機から出力する映像の解像度、サイズ、および位置などの設定について説明します。

映像は、背景色、メインウインドウ、入力映像 1、PinP ウインドウ、入力映像 2 の順に重ねて出力されます。ウインドウを小さくした場合は、奥(下位層)の映像が表示されます。



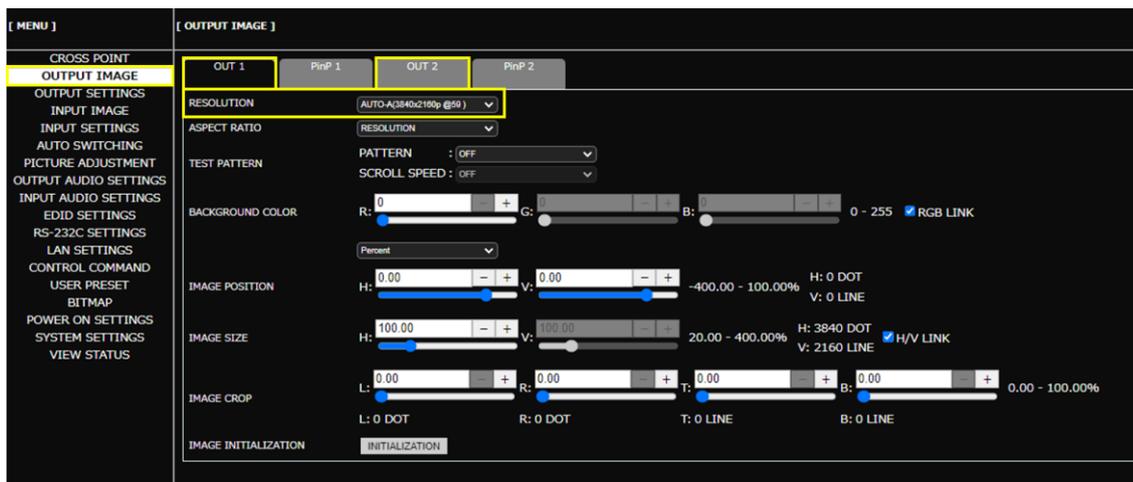
出力解像度を変更する

初期値では、接続されたシンク機器の EDID から最適な解像度を自動で選択し出力します。解像度を任意に選択して出力する場合は、設定を変更します。

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[RESOLUTION]を選択します。
2. 設定する出力チャンネルを選択します。
3. 解像度を選択します。(初期値: A (AUTO-A))
4. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Note

出力コネクタ-OUT A と OUT B は分配出力のため、同じ解像度で映像が出力されます。OUT A と OUT B に対応解像度が異なるシンク機器を接続すると、一方のシンク機器に映像が表示されないことがあります。この場合は、本機の出力解像度に両方のシンク機器が対応する解像度を設定することで、両方のシンク機器に映像が表示されます。



表示位置を調整する

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[IMAGE POSITION]を選択します。
2. 設定するウインドウを選択します。
3. [H](水平)または[V](垂直)を選択します
4. 表示位置を設定します。(初期値: 0.0%)

WEB GUI

The screenshot shows the OSD menu for 'OUTPUT IMAGE'. The 'IMAGE POSITION' section is highlighted with a yellow box. The 'H' slider is set to 0.00 and the 'V' slider is set to 0.00. The 'H/V LINK' checkbox is checked. The 'IMAGE SIZE' section shows 'H: 100.00' and 'V: 100.00'. The 'IMAGE CROP' section shows 'L: 0.00', 'R: 0.00', 'T: 0.00', and 'B: 0.00'. The 'INITIALIZATION' button is visible at the bottom.

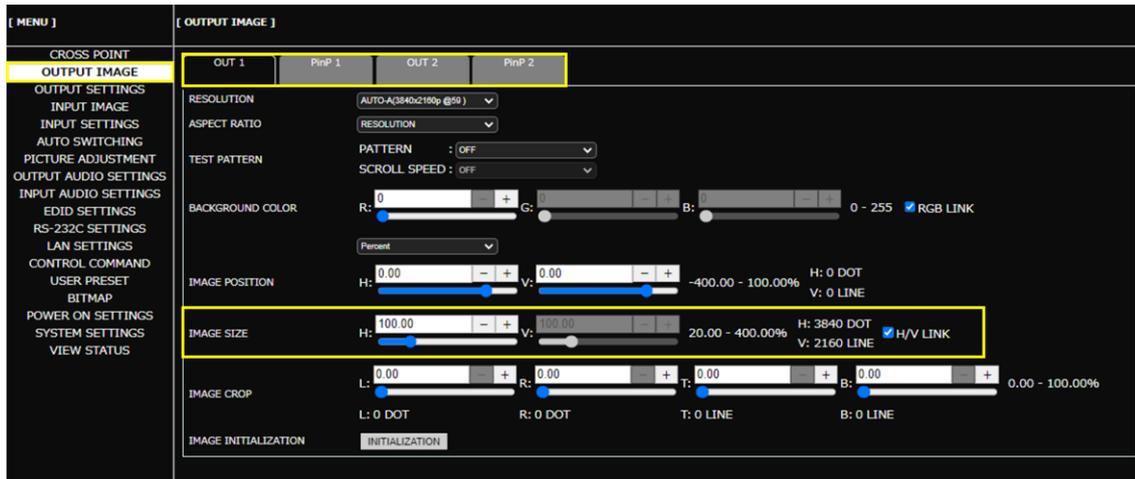


表示サイズを調整する

フロントパネル

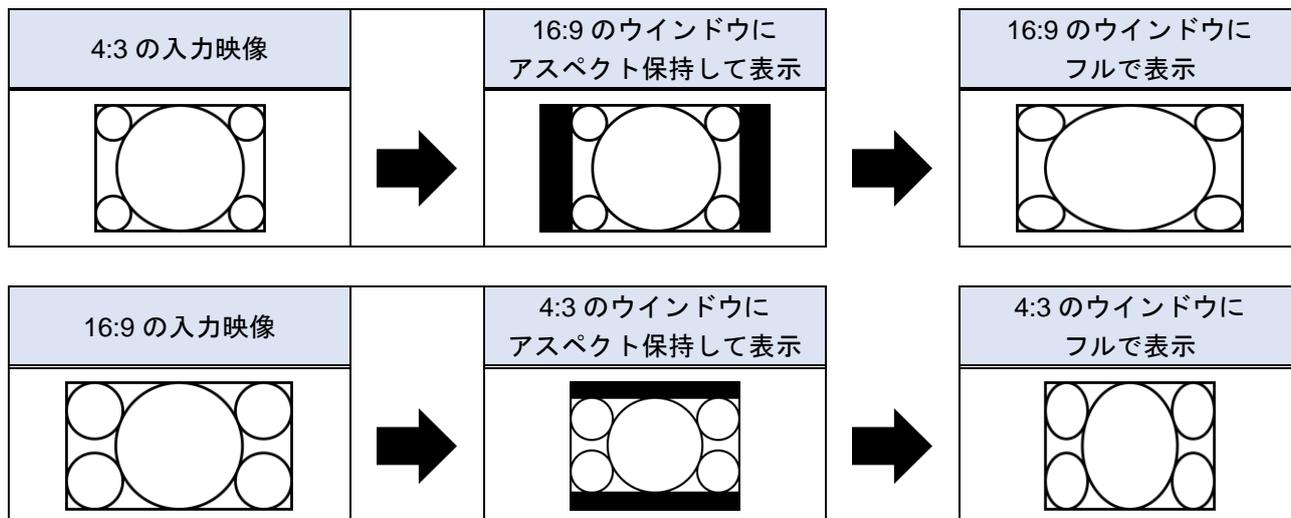
1. [OUTPUT IMAGE]→[IMAGE SIZE]を選択します。
2. 設定するウインドウを選択します。
3. [HV](水平/垂直連動)、[H](水平)または[V](垂直)を選択します。
4. 表示サイズを設定します。(初期値: 100.0%)

WEB GUI



入力映像をフルで表示する

以下は、入力映像を拡大/縮小し、入力映像全体をウインドウ全体に表示する場合の図です。



すべての入力映像をフルで表示する

アドバンスト

フロントパネル

1. [INPUT IMAGE]→[ASPECT RATIO]を選択します。
2. 設定する入力チャンネルを選択します。
3. [FULL]を選択します。(初期値: AUTO-1)

WEB GUI



Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.18)”を参照してください。

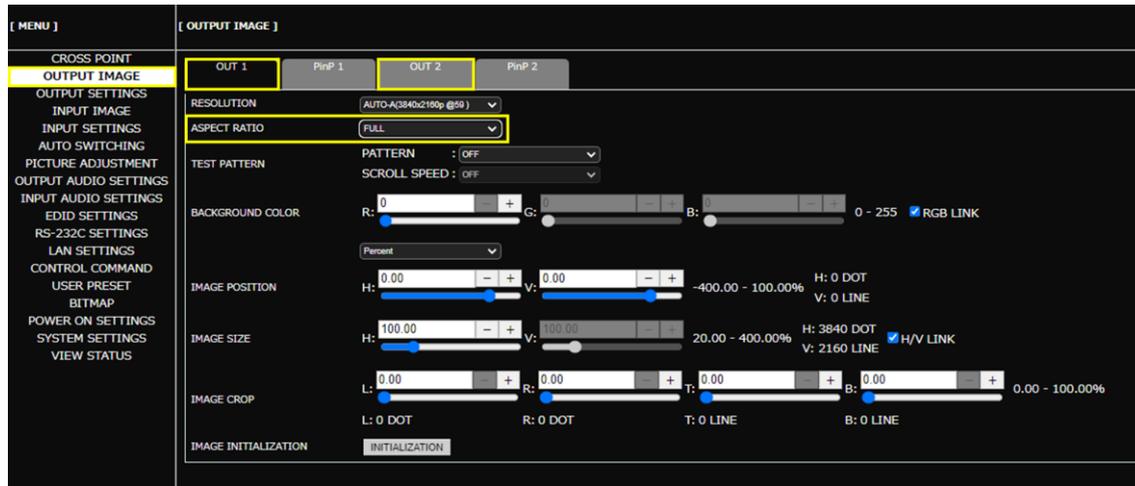
任意の出力チャンネルにすべての入力映像をフルで表示する

アドバンスト

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[ASPECT RATIO]を選択します。
2. 設定する出力チャンネルを選択します。
3. [FULL]を選択します。(初期値: RESOLUTION)

WEB GUI



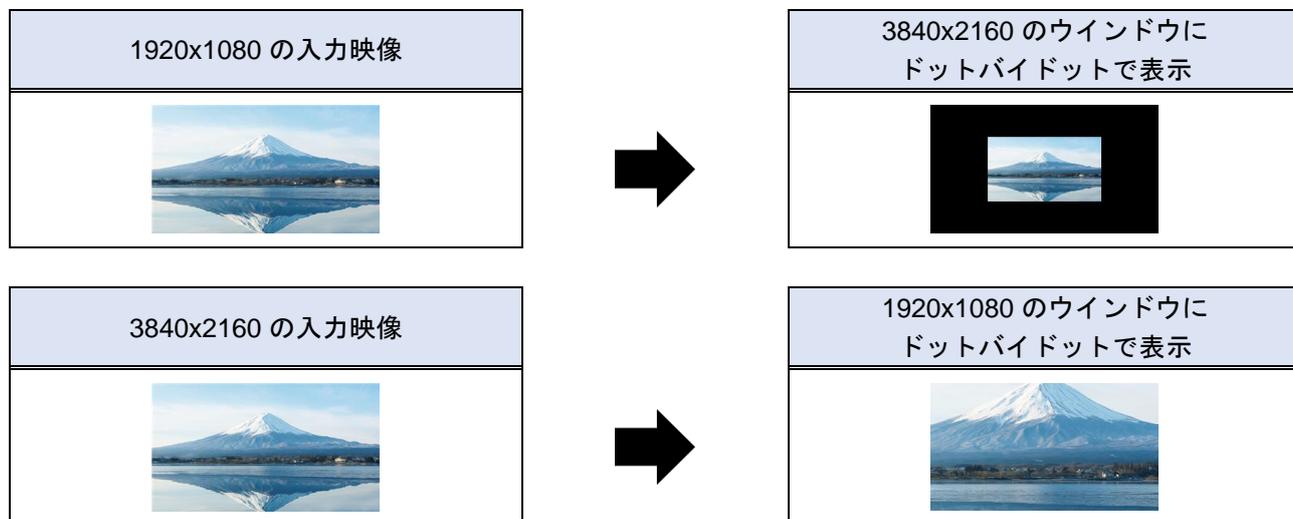
Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.18)」を参照してください。

入力映像をドットバイドットで表示する

アドバンスト

以下は、入力映像を拡大/縮小せず、入力映像をドットバイドットでウィンドウに表示する場合の図です。



フロントパネル

1. [INPUT IMAGE]→[ASPECT RATIO]を選択します。
2. 設定する入力チャンネルを選択します。
3. [THROUGH]を選択します。(初期値: AUTO-1)

WEB GUI



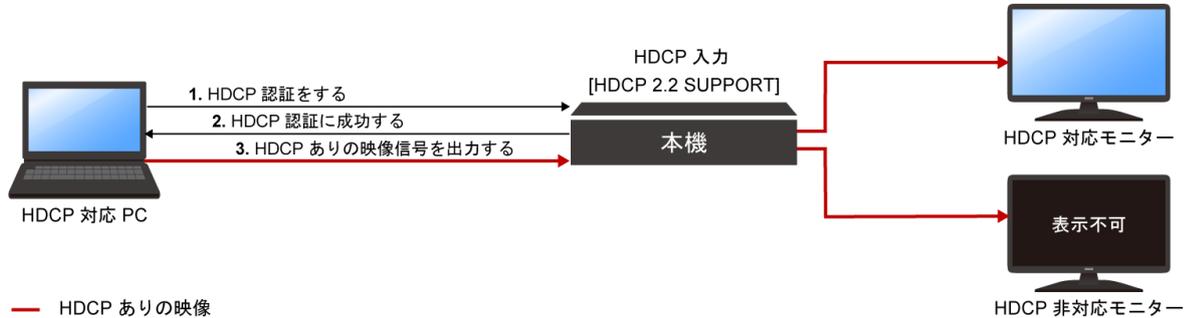
Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.18)”を参照してください。

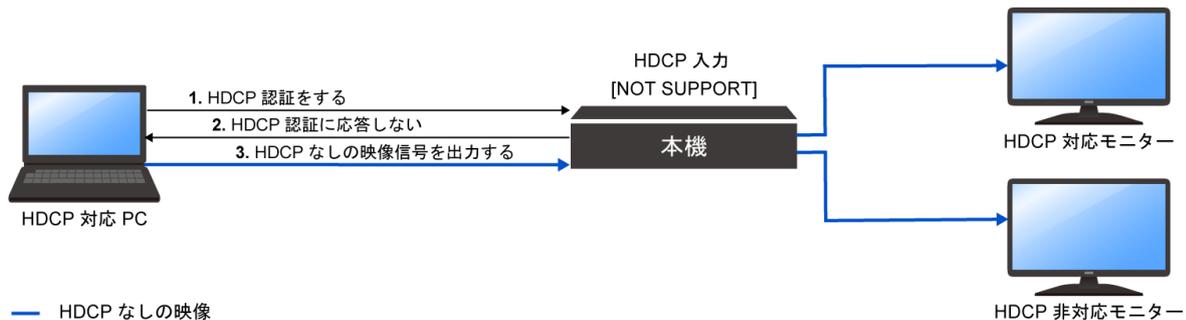
HDCP 非対応のシンク機器に映像を表示する

アドバンスト

初期値では、本機は HDCP 2.2 対応機器として動作します。接続されたシンク機器の HDCP 対応を検出し、自動で HDCP 出力を判断するソース機器が接続された場合は、以下のように HDCP ありの映像信号をソース機器から受け取ると、HDCP 非対応のシンク機器には映像を表示できません。



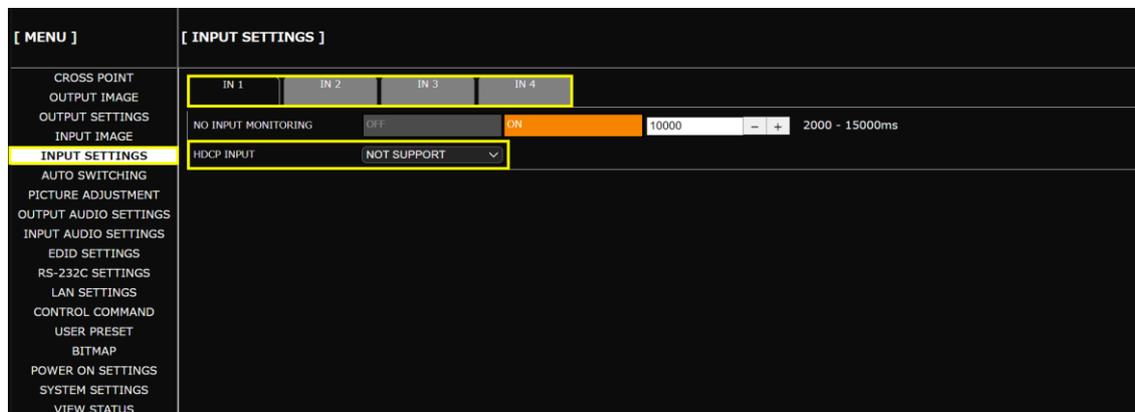
HDCP 非対応のシンク機器に映像を表示するには、本機の入力コネクタを HDCP 非対応に設定します。以下のように HDCP なしの映像信号をソース機器から受け取ることで、HDCP 非対応のシンク機器に映像を表示することができます。



フロントパネル

1. [INPUT SETTINGS]→[HDCP INPUT]を選択します。
2. 設定する入力コネクタを選択します。
3. [NOT SUPPORT]を選択します。(初期値: HDCP 2.2 SUPPORT)

WEB GUI



Note

ブルーレイディスクプレイヤーなど HDCP を必須とするソース機器を接続する場合は、ソース機器から映像と音声は出力されません。

Tip

本メニューはアドバンスメニューです。アドバンスメニューの表示方法は、“アドバンスメニューの表示 (P.18)”を参照してください。

Deep Color の入力を有効にする

アドバンス

フロントパネル

- [EDID SETTINGS]を選択します。
- 設定する入力コネクタを以下のように設定します。

サブメニュー	設定値	初期値
[EDID SELECTION]	BUILT-IN EDID	BUILT-IN EDID
[SIGNAL FORMAT]	HDMI	HDMI
[DEEP COLOR]	30-BIT COLOR	24-BIT COLOR

- MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI**Tip**

本メニューはアドバンスメニューです。アドバンスメニューの表示方法は、“アドバンスメニューの表示 (P.18)”を参照してください。

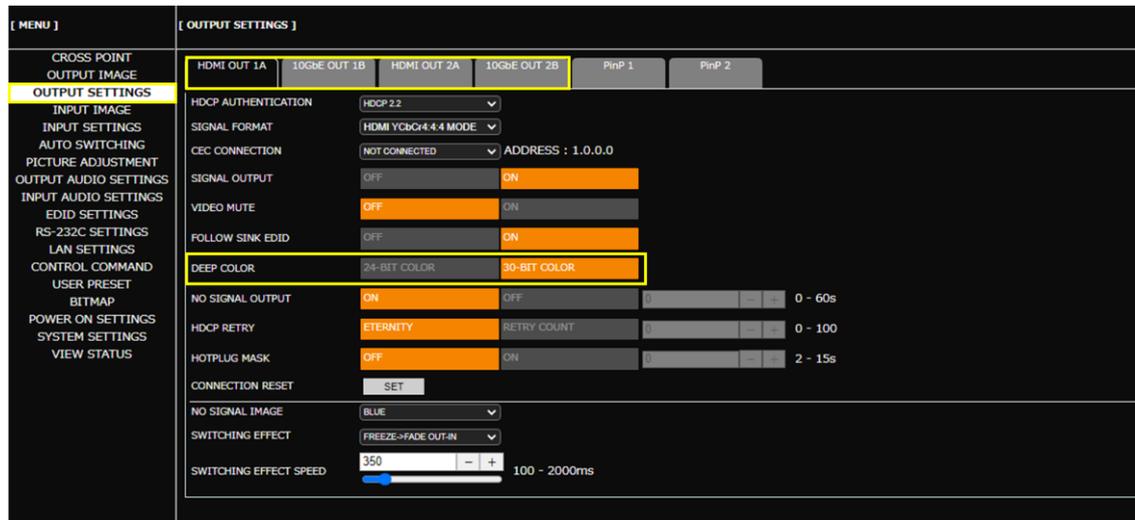
Deep Color の出力を有効にする

アドバンスト

フロントパネル

1. [OUTPUT SETTINGS]→[DEEP COLOR]を選択します。
2. 設定する出力コネクタを選択します。
3. [30-BIT COLOR]を選択します。(初期値: 24-BIT COLOR)

WEB GUI



Notes

- ・ [30-BIT COLOR]を選択しても、シンク機器が Deep Color に対応していない場合は、24-BIT COLOR で映像信号を出力します。
- ・ [30-BIT COLOR]を選択し、出力解像度が 4K@50/59.94/60 の場合は、HDMI YCbCr 4:2:2 または HDMI YCbCr 4:2:0 の 30-BIT COLOR で映像信号を出力します。

Tip

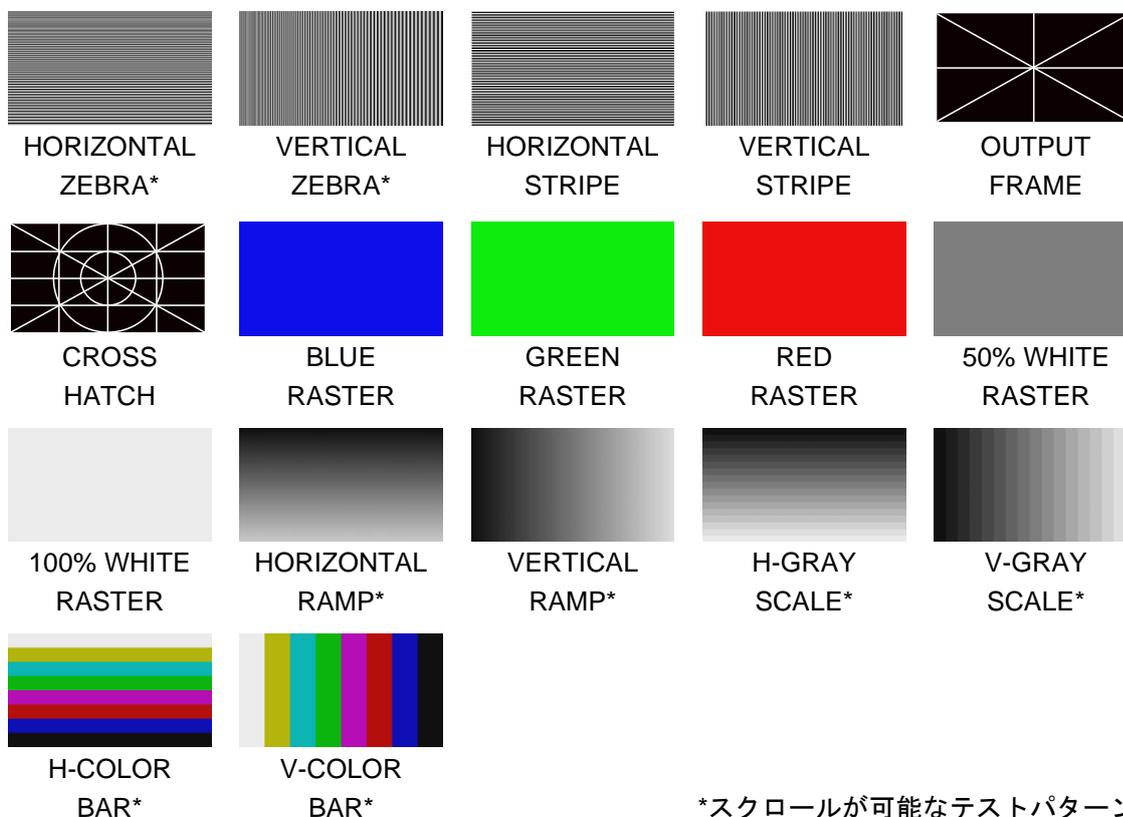
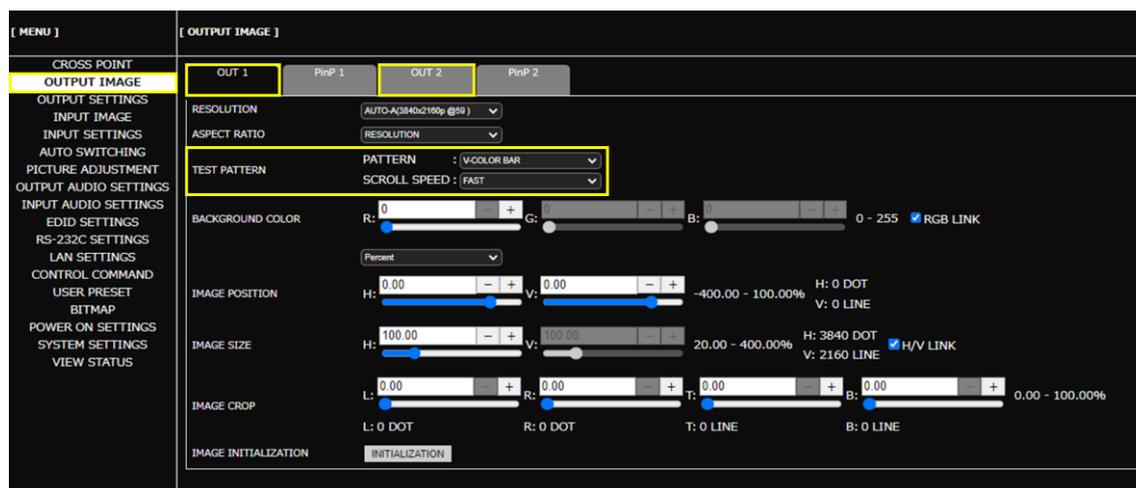
本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.18)」を参照してください。

テストパターンを出力する

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[TEST PATTERN]を選択します。
2. 設定する出力チャンネルを選択します。
3. テストパターンを選択します。
4. スクロールが可能なテストパターンを選択した場合は、▷ボタンを押します。
5. スクロール速度を選択します。

WEB GUI



*スクロールが可能なテストパターン

音声の設定

本機から入出力する音声の設定および調整方法について説明します。

HDMI 出力コネクタからは入力チャンネルのデジタル入力音声を出し、アナログ音声出力コネクタからは HDMI 出力コネクタの出力信号からデエンベツトした音声を出します。

音声レベルを調整する

1. 入力音声間のレベル差を調整します。

フロントパネル

- a) [INPUT AUDIO SETTINGS]→[AUDIO LEVEL]を選択します。
- b) 設定する入力コネクタを選択します。
- c) 入力音声レベルを調整します。(初期値: 0dB)

WEB GUI

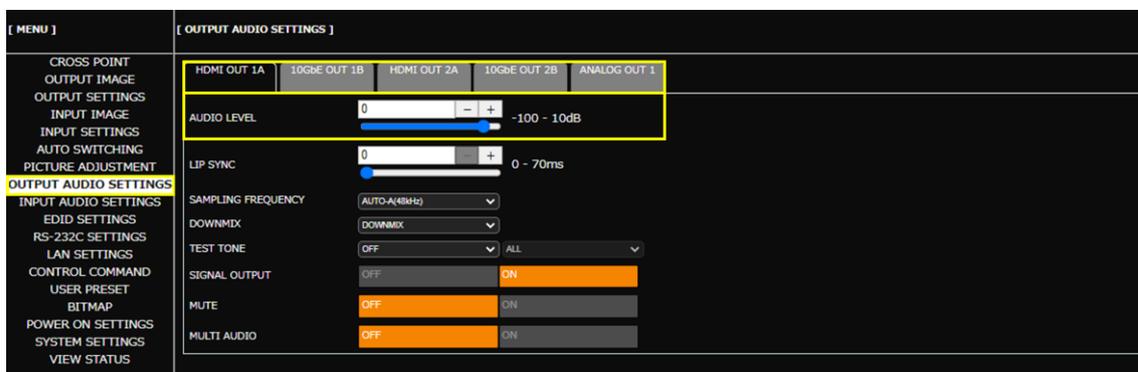


2. 音声レベルを出力音声ごとに調整します。

フロントパネル

- a) [OUTPUT AUDIO SETTINGS]→[AUDIO LEVEL]を選択します。
- b) 設定する出力コネクタを選択します。
- c) 出力音声レベルを調整します。(初期値: 0dB)

WEB GUI



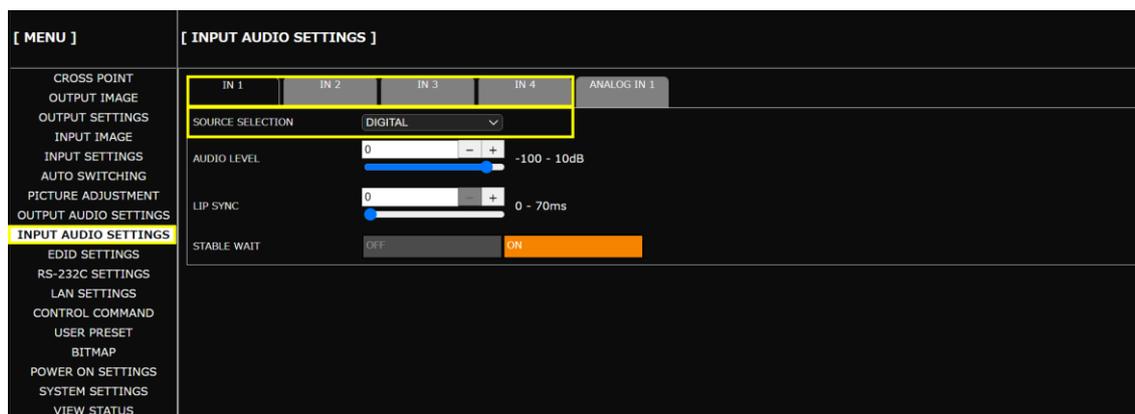
アナログ入力音声を出力する

アナログ入力音声を入力映像にエンベッドして出力します。

フロントパネル

1. [INPUT AUDIO SETTINGS]→[SOURCE SELECTION]を選択します。
2. 設定する入力チャンネルを選択します。
3. [ANALOG1]を選択します。(初期値: DIGITAL)
4. BACK ボタンを押して、MENU/ENTER ボタンが緑色に点灯するまでメニュー階層を戻ります。
入力チャンネル選択が可能になると、MENU/ENTER ボタンが緑色に点灯します。
5. 設定したチャンネルの入力チャンネル選択ボタンを押します。

WEB GUI



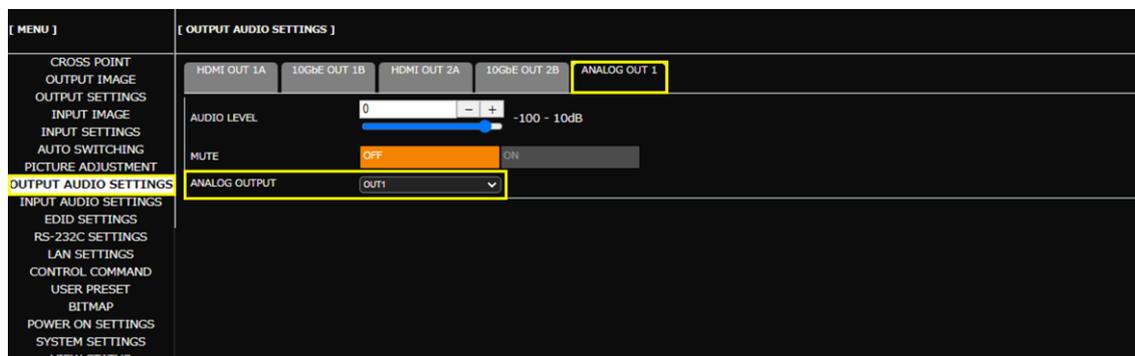
アナログ音声出力コネクタの出力音声を選択する

アドバンスト

フロントパネル

1. [OUTPUT AUDIO SETTINGS]→[ANALOG OUTPUT]を選択します。
2. アナログ音声出力コネクタに音声をデエンベッドするデジタル音声出力チャンネルを選択します。

WEB GUI



Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.18)」を参照してください。

マルチチャンネル音声の入力を有効にする

アドバンスト

初期値では、マルチチャンネル音声入力は非対応です。マルチチャンネル音声を入力する場合は、EDIDの設定を変更してください。

フロントパネル

- [EDID SETTINGS]を選択します。
- 設定する入力コネクタを以下のように設定します。

サブメニュー	設定値	初期値
[EDID SELECTION]	BUILT-IN EDID	BUILT-IN EDID
[SIGNAL FORMAT]	HDMI	HDMI
[SPEAKER CONFIGURATION]	AUTO	AUTO
	3 ~ 8 (スピーカー数)	2

- MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Tips

- マルチチャンネル音声を出力するスピーカーを任意で選択する場合は、[SPEAKER CONFIGURATION]で[MANUAL]を選択します。詳細は、テクニカルガイドを参照してください。
- 以下は、スピーカー配置の図です。



FL : Front Left
 FC : Front Center
 FR : Front Right
 FLC : Front Left Center
 FRC : Front Right Center
 RL : Rear Left
 RC : Rear Center
 RR : Rear Right
 RLC : Rear Left Center
 RRC : Rear Right Center
 LFE : Low Frequency Effect
 FLW : Front Left Wide
 FRW : Front Right Wide
 FLH : Front Left High
 FCH : Front Center High
 FRH : Front Right High
 TC : Top Center
 RL/RR
 FLC/RRC
 FLH/FRH

- 本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.18)」を参照してください。

マルチチャンネル音声の出力を有効にする

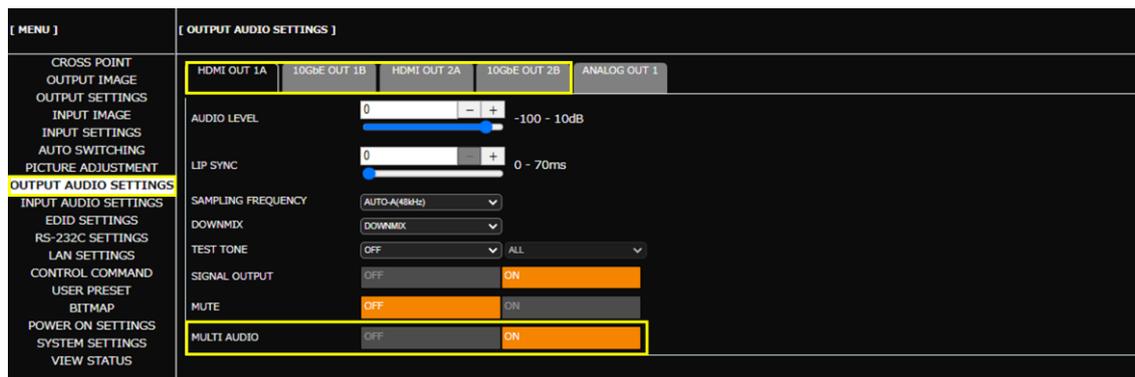
アドバンスト

初期値では、マルチチャンネル音声が入力された場合は、ダウンミックスした音声を入力します。マルチチャンネル音声を入力する場合は、設定を変更してください。

フロントパネル

1. [OUTPUT AUDIO SETTINGS]→[MULTI AUDIO]を選択します。
2. 設定する出力コネクタを選択します。
3. [ON]を選択します。(初期値: OFF)

WEB GUI



Note

シンク機器がマルチチャンネル音声に対応していない場合は、一部の音声のみ出力されます。

Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.18)」を参照してください。

マルチチャンネル入力音声をダウンミックスして出力する

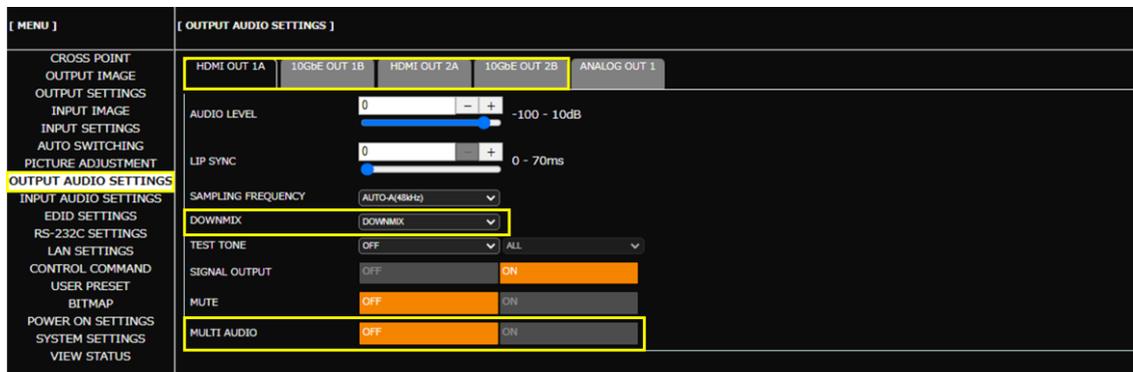
アドバンスト

デジタル入力音声のマルチチャンネルリニア PCM 信号をダウンミックスして出力する場合は、出力するデジタル音声およびアナログ音声のダウンミックスを設定してください。

フロントパネル

1. [OUTPUT AUDIO SETTINGS]→[MULTI AUDIO]を選択します。
2. 設定する出力コネクタを選択します。
3. [OFF]を選択します。(初期値: OFF)
4. [OUTPUT AUDIO SETTINGS]→[DOWNMIX]を選択します。
5. 設定する出力コネクタを選択します。
6. [DOWNMIX]を選択します。(初期値: DOWNMIX)

WEB GUI



Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.18)」を参照してください。

圧縮音声の入力を有効にする

アドバンスト

初期値では、圧縮音声は非対応設定のため、ソース機器から圧縮音声は出力されません。圧縮音声を入力する場合は、EDID の設定を変更してください。

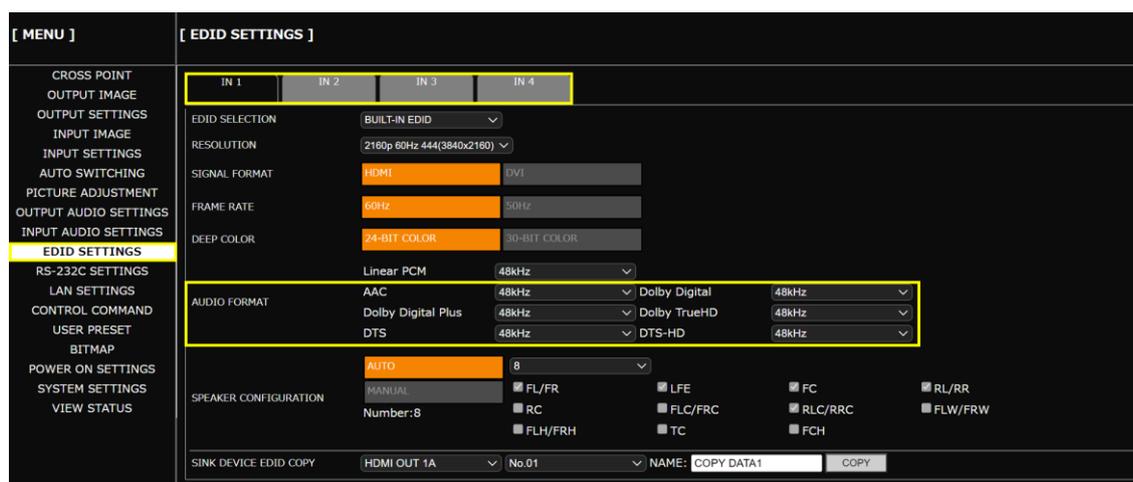
フロントパネル

1. [EDID SETTINGS]を選択します。
2. 設定する入力コネクタを以下のように設定します。

サブメニュー	設定値	初期値
[EDID SELECTION]	BUILT-IN EDID	BUILT-IN EDID
[SIGNAL FORMAT]	HDMI	HDMI
[SPEAKER CONFIGURATION]	AUTO	AUTO
	3 ~ 8 (スピーカー数)	2

3. MENU/ENTER ボタンを押します。
4. [EDID SETTINGS]のサブメニューから有効にする圧縮音声を選択します。
5. 設定する入力コネクタを選択します。
6. サンプリング周波数を選択します。(初期値: OFF)
7. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Notes

- ・ 圧縮音声は AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS、および DTS-HD に対応しています。
- ・ シンク機器が対応していない圧縮音声は出力できません。
- ・ 圧縮音声信号を入出力する場合は、音声の設定は無効になり、アナログ音声は出力できません。

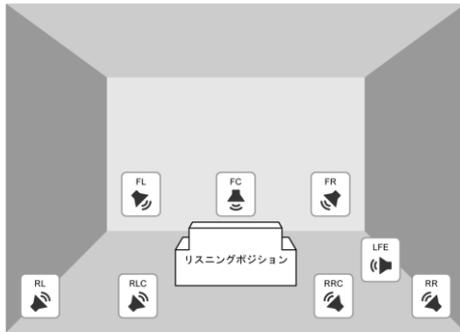
Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.18)」を参照してください。

テストトーンを出力する

フロントパネル

1. [OUTPUT AUDIO SETTINGS]→[TEST TONE]を選択します。
2. 設定する出力コネクタを選択します。
3. 出力するテストトーンの周波数を選択します。
4. 出力するスピーカーを選択します。



FL : Front Left
 FC : Front Center
 FR : Front Right
 LFE : Low Frequency Effect
 RL : Rear Left
 RLC : Rear Left Center
 RRC : Rear Right Center
 RR : Rear Right

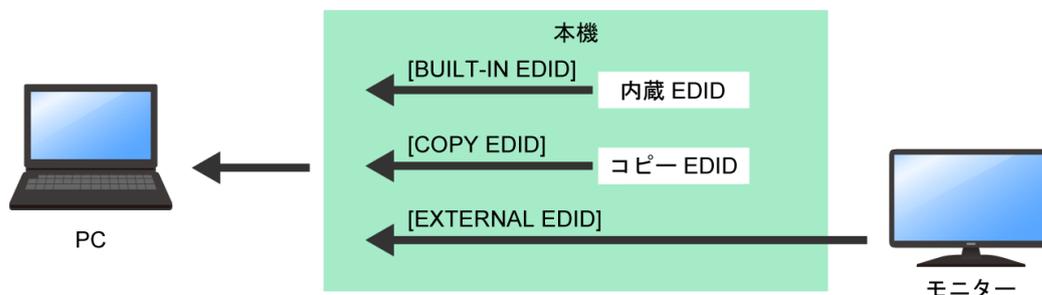
WEB GUI



EDID の設定

使用する EDID の選択方法や EDID 設定の変更方法について説明します。

本機に接続されたソース機器は、本機が対応する映像信号、音声信号の情報を EDID から取得します。本機の EDID を変更して、ソース機器から本機に出力して欲しい信号情報をソース機器に送信します。



[BUILT-IN EDID] : 対応解像度情報などを変更できる本機内蔵の EDID

[COPY DATA] : シンク機器からコピーし本機に保存された EDID

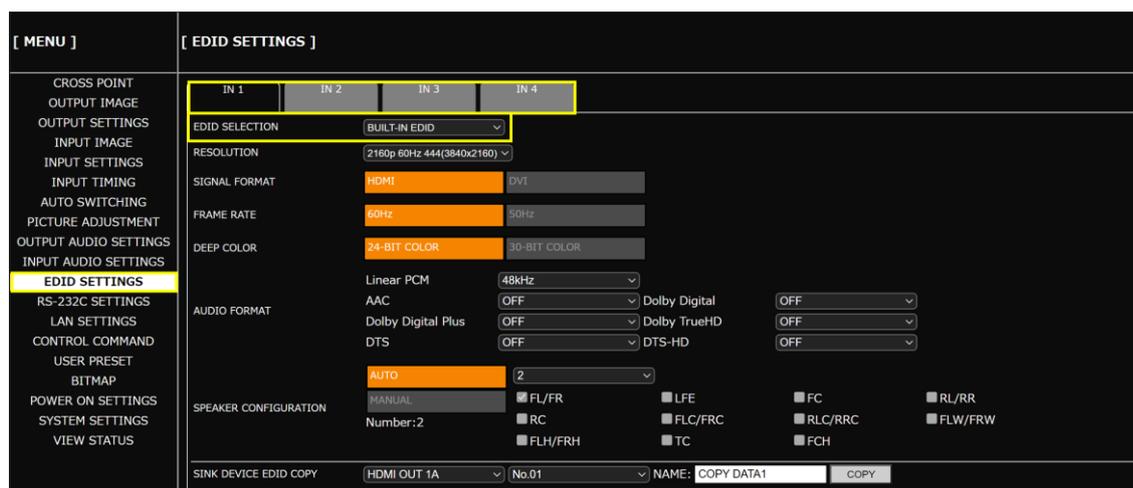
[EXTERNAL EDID] : 出力コネクタに接続されているシンク機器の EDID

EDID を選択する

フロントパネル

1. [EDID SETTINGS]→[EDID SELECTION]を選択します。
2. 設定する入力コネクタを選択します。
3. ソース機器に送信する EDID を選択します。(初期値: BUILT-IN EDID)
4. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Note

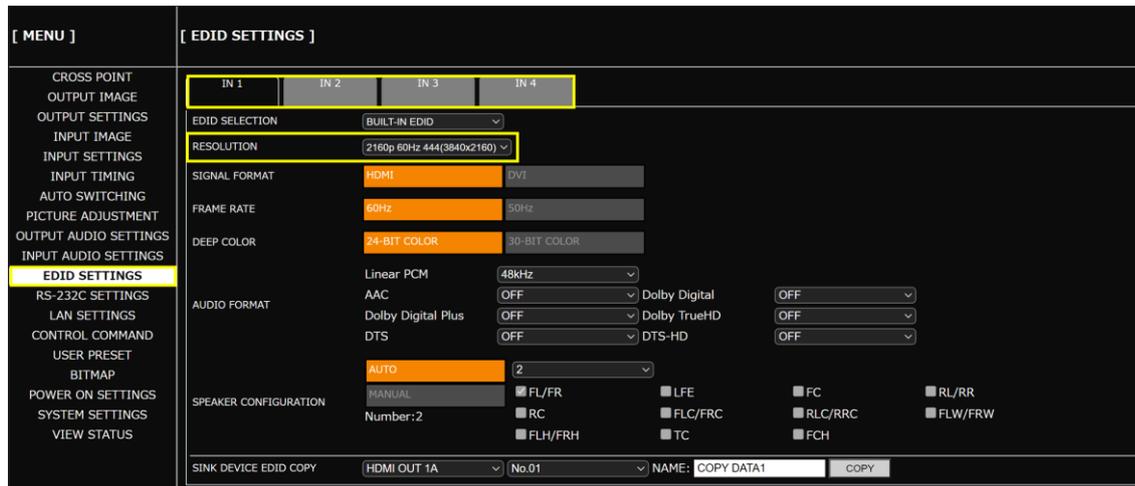
シンク機器からコピーした EDID は、有効な保存データがある場合のみ選択でき、保存時に設定した名前が表示されます。シンク機器からコピーした EDID を本機に保存する方法は、“シンク機器の EDID をコピーする (P.52)”を参照してください。

内蔵 EDID の対応解像度情報を変更する

フロントパネル

1. [EDID SETTINGS]→[RESOLUTION]を選択します。
2. 設定する入力コネクタを選択します。
3. 最大対応解像度を選択します。(初期値: 3840x2160@60Hz 4:4:4)
4. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Note

4K 解像度を出力できないソース機器を接続する場合は、EDID を 4K 解像度に設定すると、正常な映像が出力されないことがあります。ソース機器が出力できる解像度に合わせて EDID の対応解像度情報を変更してください。

シンク機器の EDID をコピーする

フロントパネル

1. [EDID SETTINGS]→[SINK DEVICE EDID COPY]を選択します。
2. EDID をコピーするシンク機器が接続されている出力コネクタを選択します。
3. EDID を保存するメモリー番号を選択します。
4. EDID 名を入力します。
5. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[EDID SETTINGS]
CROSS POINT	IN 1 IN 2 IN 3 IN 4
OUTPUT IMAGE	EDID SELECTION: BUILT-IN EDID
OUTPUT SETTINGS	RESOLUTION: 2160p 60Hz 444(3840x2160)
INPUT IMAGE	SIGNAL FORMAT: HDMI DVI
INPUT SETTINGS	FRAME RATE: 60Hz 50Hz
AUTO SWITCHING	DEEP COLOR: 24-BIT COLOR 30-BIT COLOR
PICTURE ADJUSTMENT	Linear PCM: 48kHz
OUTPUT AUDIO SETTINGS	AAC: OFF Dolby Digital: OFF
INPUT AUDIO SETTINGS	Dolby Digital Plus: OFF Dolby TrueHD: OFF
EDID SETTINGS	DTS: OFF DTS-HD: OFF
RS-232C SETTINGS	AUDIO FORMAT: AUTO 2
LAN SETTINGS	SPEAKER CONFIGURATION: MANUAL
CONTROL COMMAND	Number: 2
USER PRESET	<input checked="" type="checkbox"/> FL/FR <input type="checkbox"/> LFE <input type="checkbox"/> FC <input type="checkbox"/> RL/RR
BITMAP	<input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> FLC/FRC <input type="checkbox"/> RLC/RRC <input type="checkbox"/> FLW/FRW
POWER ON SETTINGS	<input type="checkbox"/> FLH/FRH <input type="checkbox"/> TC <input type="checkbox"/> FCH
SYSTEM SETTINGS	SINK DEVICE EDID COPY: HDMI OUT 1A No.01 NAME: COPY DATA1 COPY
VIEW STATUS	

2 画面合成映像の表示

PinP ウィンドウの表示方法や映像およびレイアウトの切り換え方法について説明します。



PinP 表示



Side by Side 表示

PinP ウィンドウの映像は、個別に切り換えることができます。レイアウトは、パターンメモリーを呼び出して切り換えます。パターンメモリーには以下の設定が保存されています。

- ・ PinP ウィンドウの表示/非表示
- ・ メインウィンドウと PinP ウィンドウの表示位置および表示サイズ

PinP ウィンドウを表示する

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[PinP OUTPUT]を選択します。
2. 出力チャンネルを選択します。
3. [ON]を選択します。

WEB GUI

[MENU]

- CROSS POINT
- OUTPUT IMAGE
- OUTPUT SETTINGS
- INPUT IMAGE
- INPUT SETTINGS
- AUTO SWITCHING
- PICTURE ADJUSTMENT
- OUTPUT AUDIO SETTINGS
- INPUT AUDIO SETTINGS
- EDID SETTINGS
- RS-232C SETTINGS
- LAN SETTINGS
- CONTROL COMMAND
- USER PRESET
- BITMAP
- POWER ON SETTINGS
- SYSTEM SETTINGS
- VIEW STATUS

[CROSS POINT]

STANDBY MODE

V&A VIDEO AUDIO

SWITCHING MODE

CHANNEL SELECT

	IN1	IN2	IN3	IN4	OFF	PinP ON
OUT1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
PinP	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
OUT2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
PinP	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

1 2 3 4 5

RECALL PATTERN

OUT1	1	2	3	4	5
<input type="checkbox"/>					
OUT2	1	2	3	4	5
<input type="checkbox"/>					

RECALL CROSSPOINT

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="checkbox"/>								

FUNCTION

F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
<input type="checkbox"/>								

BUTTON LOCK

CHANNEL MENU F BUTTON STANDBY ALL

NAME EDIT

PinP ウィンドウの映像を切り換える

フロントパネル

1. [SYSTEM SETTINGS]→[WINDOW SELECT]を選択します。
2. [PinP]を選択します。(初期値: MAIN)
3. BACK ボタンを押して、MENU/ENTER ボタンが緑色に点灯するまでメニュー階層を戻ります。
入力チャンネル選択が可能になると、MENU/ENTER ボタンが緑色に点灯します。
4. 任意の入力チャンネル選択ボタンを押すと、PinP ウィンドウの映像が切り換わります。

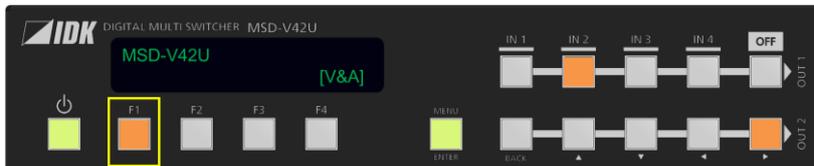
Tip

[WINDOW SELECT]は、ファンクションボタンに割り当てることができます。
設定方法は、“ファンクションボタンに機能を割り当てる (P.22)”を参照してください。

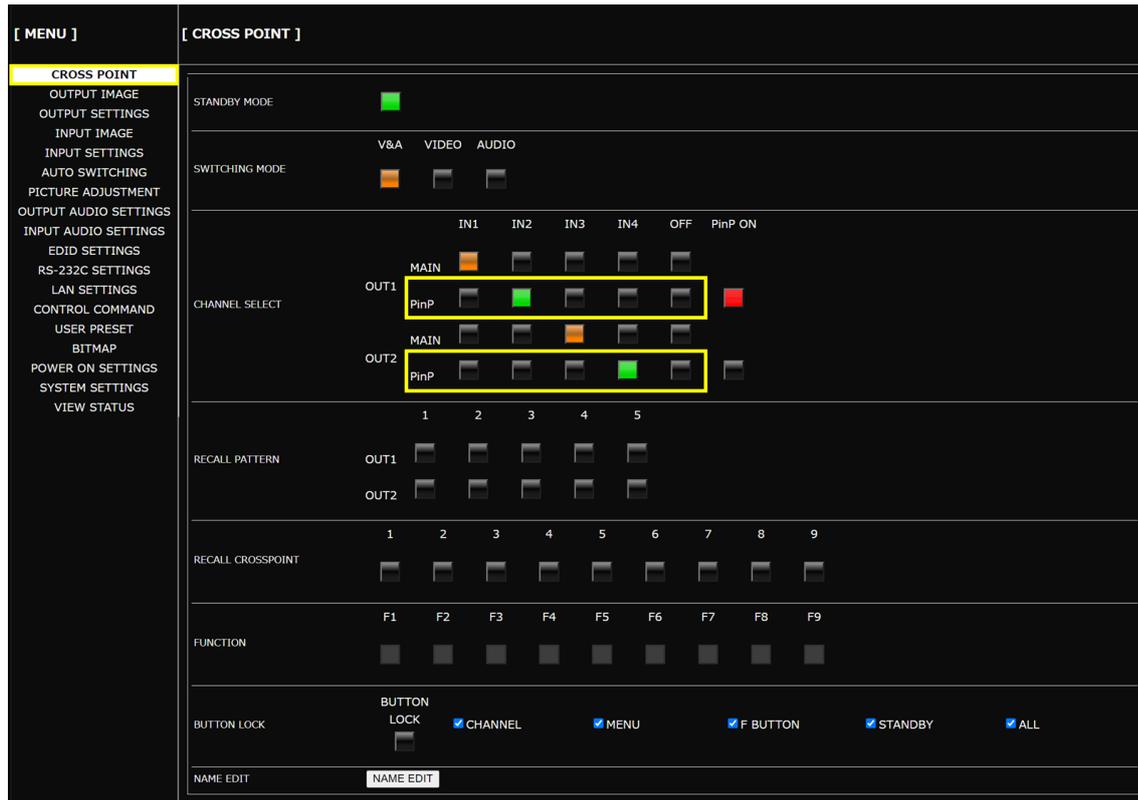
[WINDOW SELECT]を割り当てたファンクションボタンが緑色に点灯している場合は、入力チャンネル選択ボタンを押すと、PinP ウィンドウの映像が切り換わります。



[WINDOW SELECT]を割り当てたファンクションボタンが橙色に点灯している場合は、入力チャンネル選択ボタンを押すと、メインウィンドウの映像が切り換わります。



WEB GUI

**Note**

PinP ウィンドウは、[SWITCHING MODE]の設定にかかわらず映像のみ切り換わります。

レイアウトを切り換える

初期値で保存されている以下のレイアウトを“レイアウトを呼び出す(P.88)”で切り換えます。

No.1



PinP ウィンドウ非表示

No.2



PinP ウィンドウ表示 (左上)

No.3



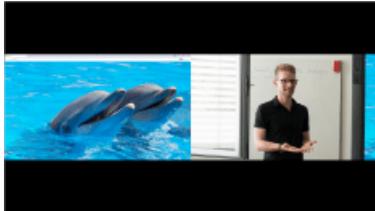
PinP ウィンドウ表示 (右上)

No.4



PinP ウィンドウ表示 (右下)

No.5



PinP ウィンドウ表示 (Side by Side)

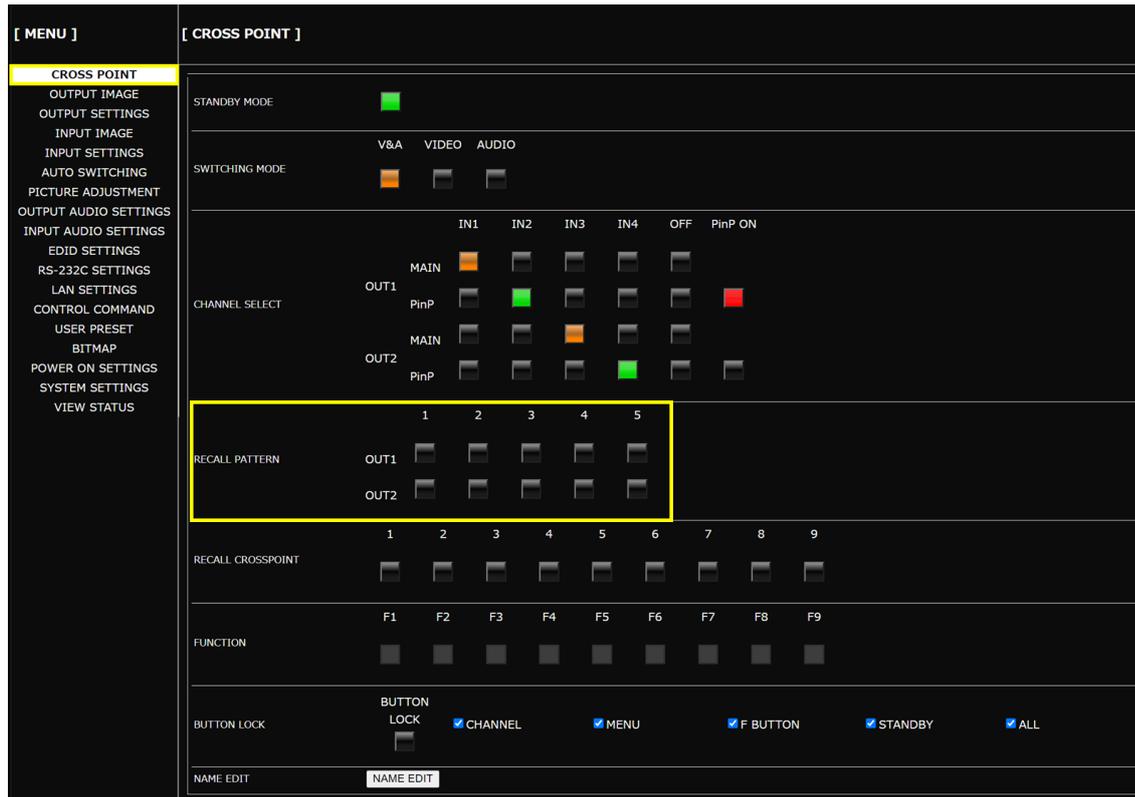
フロントパネル

1. [USER PRESET]→[RECALL PATTERN]を選択します。
2. 設定を呼び出す出力チャンネルを選択します。
3. 呼び出すパターンメモリー番号を選択します。
4. MENU/ENTER ボタンを押すと、呼び出しの実行を確認するメッセージが表示されます。
5. [YES]を選択します。
6. MENU/ENTER ボタンを押します。

Tips

- ・ [RECALL PATTERN]をファンクションボタンに割り当てると、割り当てたボタンを押すことでパターンメモリー番号順にレイアウトを呼び出すことができます。設定方法は、“ファンクションボタンに機能を割り当てる (P.22)”を参照してください。
- ・ レイアウトの変更方法は、“表示位置を調整する (P.34)”および“表示サイズを調整する (P.35)”を参照してください。
- ・ レイアウトの保存方法は、“レイアウトを保存する (P.87)”を参照してください。

WEB GUI

**Tip**

パターンメモリーには、入力チャンネル選択情報は保存されません。レイアウトと入力チャンネル選択を同時に切り換える場合は、クロスポイントメモリーを同時に呼び出すか、プリセットメモリーを呼び出します。詳細は、“ユーザープリセットの保存と呼び出し (P.83)”を参照してください。

ビットマップの表示

ビットマップファイルの保存および表示方法について説明します。

本機に保存できるビットマップファイルは、Windowsなどで使用される DIB(Device Independent Bitmap)にヘッダーを付けた以下の条件を満たすファイルです。

ヘッダーファイル：BITMAPFILEHEADER

情報ヘッダー：BITMAPCOREHEADER (OS/2 用)、BITMAPINFOHEADER (Windows 用)

色数：2 色 (モノクロ、1 ビット)、16 色 (4 ビット)、256 色 (8 ビット)、
1677 万色 (TRUE COLOR、24 ビット)

1 枚の画像サイズ：メモリーモードが 2K (4 BITMAPS)：2048x1152 以下
メモリーモードが 4K (1 BITMAP)：4096x2160 以下

圧縮形式：無圧縮 (BI_RGB)、8 ビットランレングス圧縮 (BI_RLE8)、
4 ビットランレングス圧縮 (BI_RLE4)

ビットマップファイルを保存する

アドバンスト

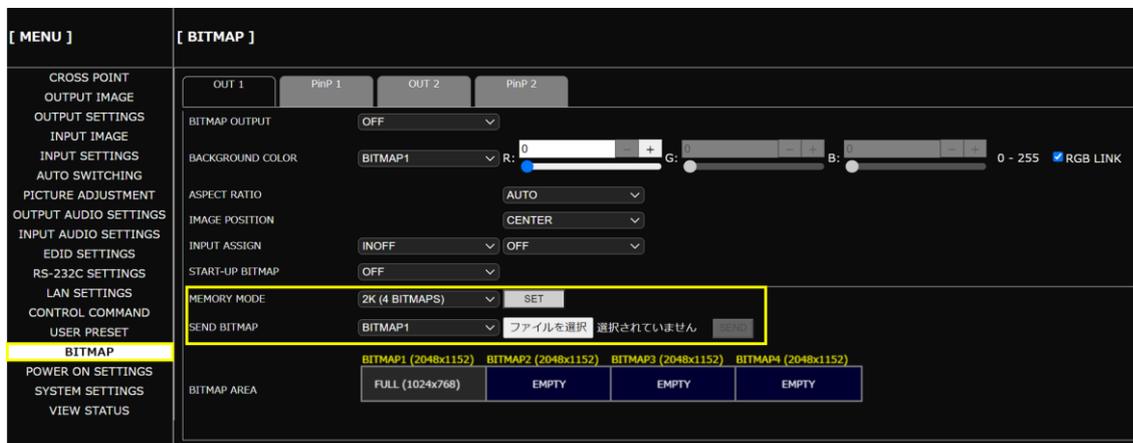
WEB GUI

1. [MENU]→[BITMAP]を選択します。
2. [MEMORY MODE]から保存するビットマップファイルの最大解像度を選択します。
 2K (4 BITMAPS) : 2048x1152 以下のビットマップを 4 つまで保存可能
 4K (1 BITMAP) : 4096x2160 以下のビットマップを 1 つ保存可能
3. [SET]ボタンを押します。

Notes

- ・ 設定を変更すると、変更前に保存されていたビットマップファイルは消去されます。
- ・ ビットマップの保存にかかる時間は、1920x1080 で約 6 分、3840x2160 で約 20 分です。

4. [SEND BITMAP]プルダウンメニューから保存先のビットマップファイル番号を選択します。
5. [ファイルを選択]ボタンを押します。
6. 保存するビットマップファイルを選択します。
7. [SEND]ボタンを押します。



Notes

- ・ フロントディスプレイに[Writing Bitmap Please Wait...]と表示されている間は、本機の電源を遮断しないでください。設定内容を失うことがあります。
- ・ 保存したビットマップファイルは初期化しても失われません。
- ・ 保存したビットマップファイルのバックアップはできません。
- ・ ビットマップファイルはWEB ブラウザーを使用し保存してください。フロントパネルからは保存できません。

Tip

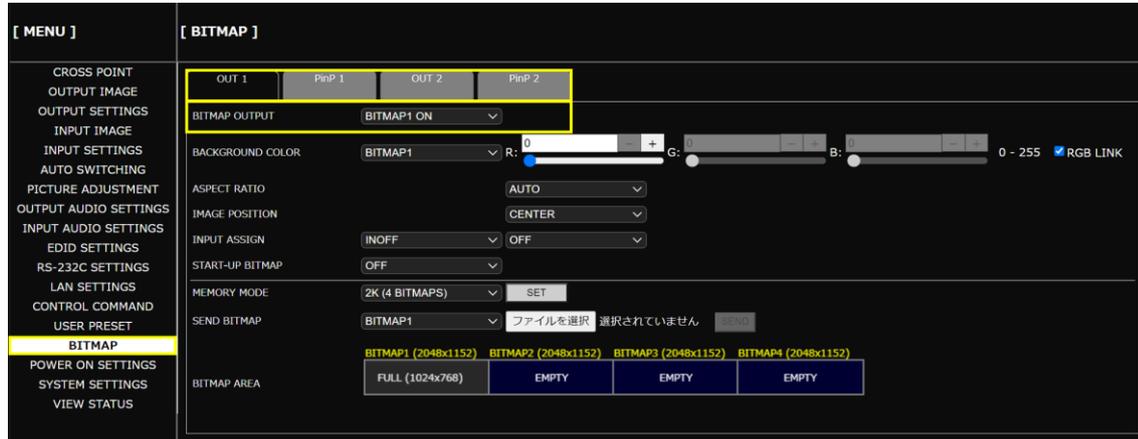
本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.18)”を参照してください。

ビットマップを表示する

フロントパネル

1. [BITMAP]→[BITMAP OUTPUT]を選択します。
2. ビットマップを表示するウインドウを選択します。
3. 保存したビットマップファイルの番号を選択します。

WEB GUI



Note

本機にビットマップファイルが保存されている番号のみ選択可能です。

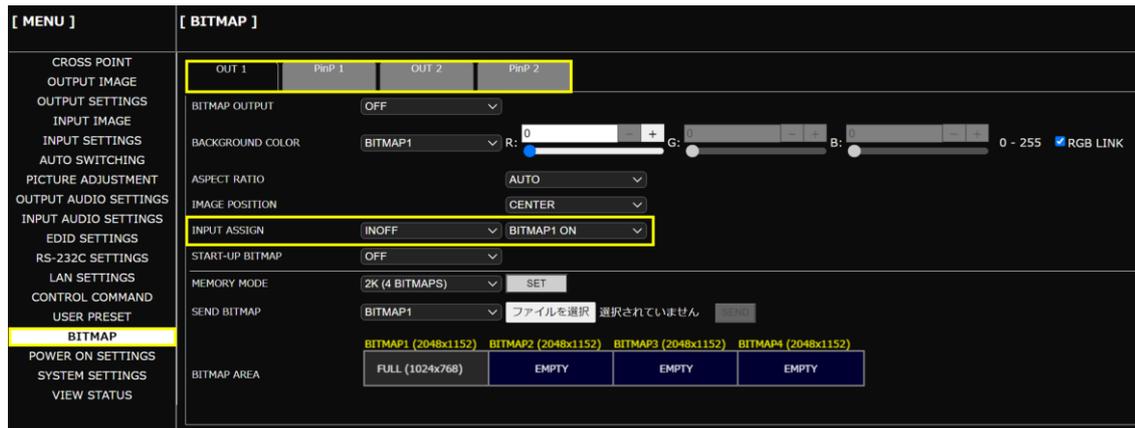
入力チャンネルに OFF を選択したときにビットマップを表示する

アドバンスト

フロントパネル

1. [BITMAP]→[INPUT ASSIGN]を選択します。
2. 設定するウインドウを選択します。
3. [INPUT ASSIGN]で[INOFF]を選択します。
4. 表示するビットマップファイルの番号を選択します。
5. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Note

本機にビットマップファイルが保存されている番号のみ選択可能です。

Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.18)”を参照してください。

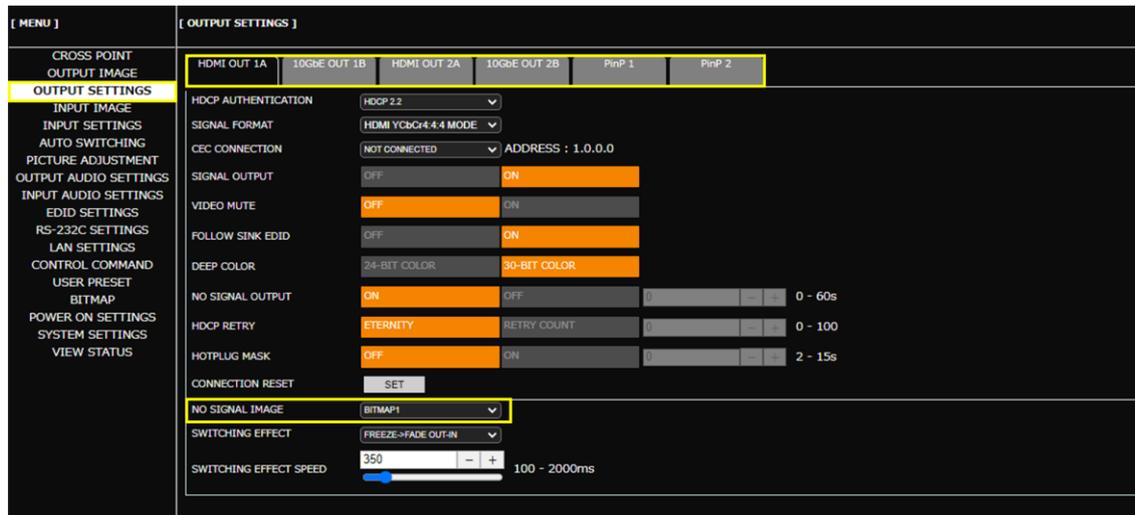
入力映像信号がないときにビットマップを表示する

アドバンスト

フロントパネル

1. [OUTPUT SETTINGS]→[NO SIGNAL IMAGE]を選択します。
2. 設定するウインドウを選択します。
3. 表示するビットマップファイルの番号を選択します。

WEB GUI



Note

本機にビットマップファイルが保存されている番号のみ選択可能です。

Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.18)」を参照してください。

入力チャンネル自動切換の設定

入力映像信号の検出または消失時に、有効な映像信号がある入力チャンネルに自動で切り換える方法について説明します。

入力チャンネルを自動で切り換える

アドバンスト

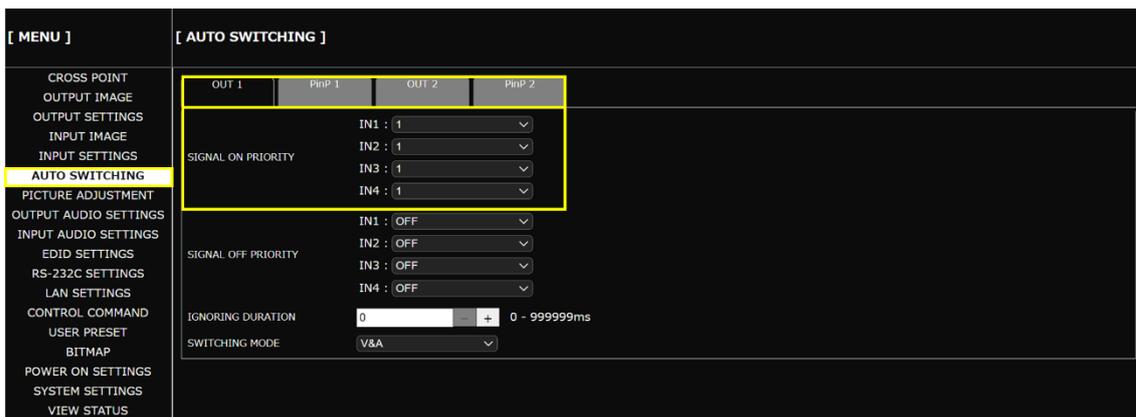
以下は、映像信号の入力を検出したときと、入力された映像信号が消失したときに自動でチャンネルを切り換える場合の例です。

1. 入力映像信号を検出したチャンネルに自動的に切り換える設定をします。

フロントパネル

- a) [AUTO SWITCHING]→[SIGNAL ON PRIORITY]を選択します。
- b) 自動切換を行うウィンドウを選択します。
- c) すべての入力チャンネルに同じ優先度を選択します。
- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



2. 入力映像信号が消失したときに、自動的に IN1 のチャンネルに切り換える設定をします。

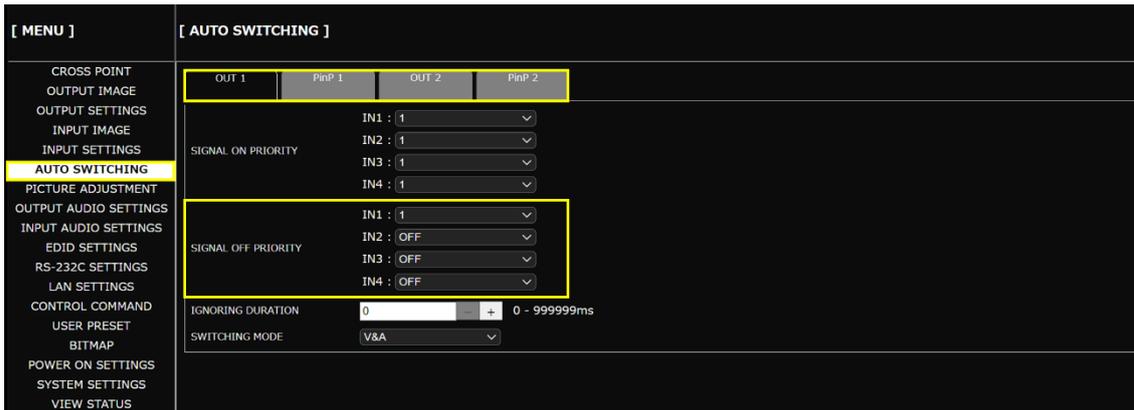
フロントパネル

- a) [AUTO SWITCHING]→[SIGNAL OFF PRIORITY]を選択します。
- b) 自動切換を行うウインドウを選択します。
- c) 各入力チャンネルに以下の優先度を設定します。

入力チャンネル	設定値	説明
IN1	1	最も高い優先度
IN1 以外	OFF	優先度の設定なし

- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

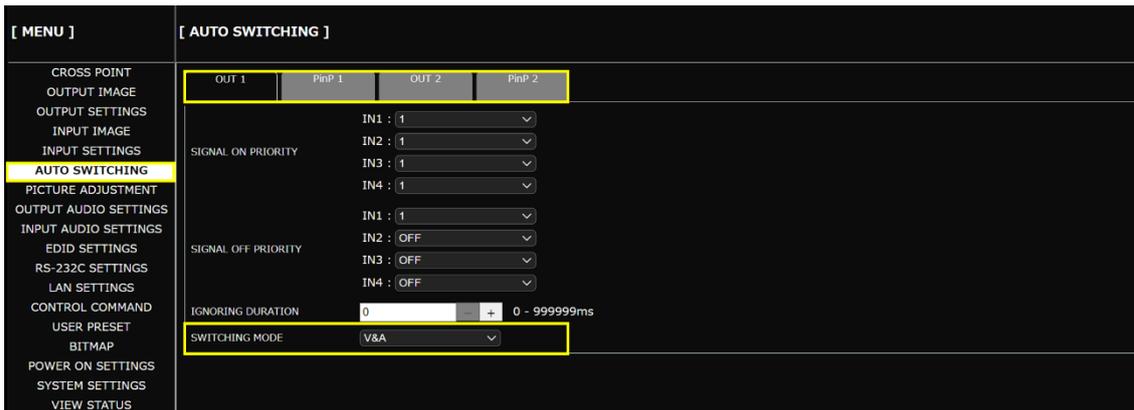


3. 自動切換の実行時に切り換える信号を選択します。

フロントパネル

- a) [AUTO SWITCHING]→[SWITCHING MODE]を選択します。
- b) 自動切換を行うウインドウを選択します。
- c) [V&A]を選択します。

WEB GUI



Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.18)”を参照してください。

自動切換の連続実行を防止する

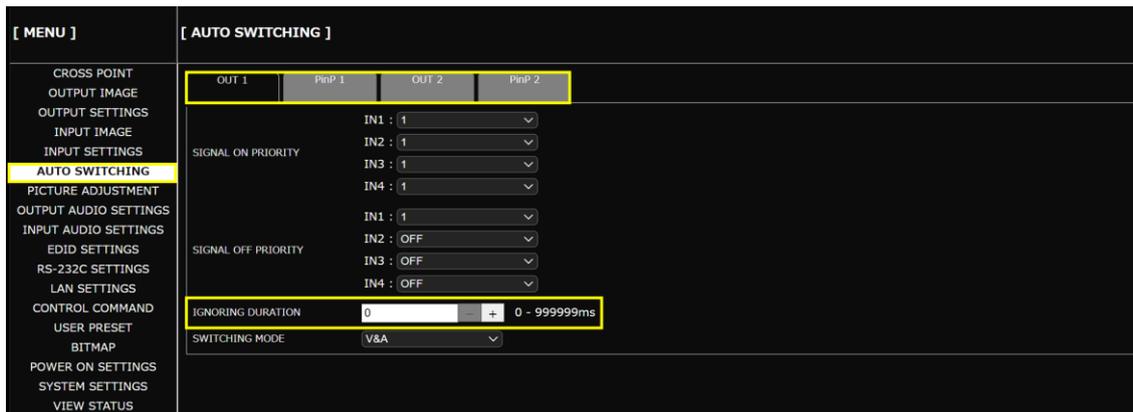
アドバンスト

入力映像信号の変化を短い間隔で検出すると、自動切換が連続して実行されます。自動切換の実行後に、信号変化の検出を無効にする時間を設定することで、自動切換の連続実行を防止します。

フロントパネル

1. [AUTO SWITCHING]→[IGNORING DURATION]を選択します。
2. 自動切換を行う出力チャンネルを選択します。
3. 自動切換が実行された後に信号変化の検出を無効にする時間を設定します。

WEB GUI



Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.18)”を参照してください。

通信の設定

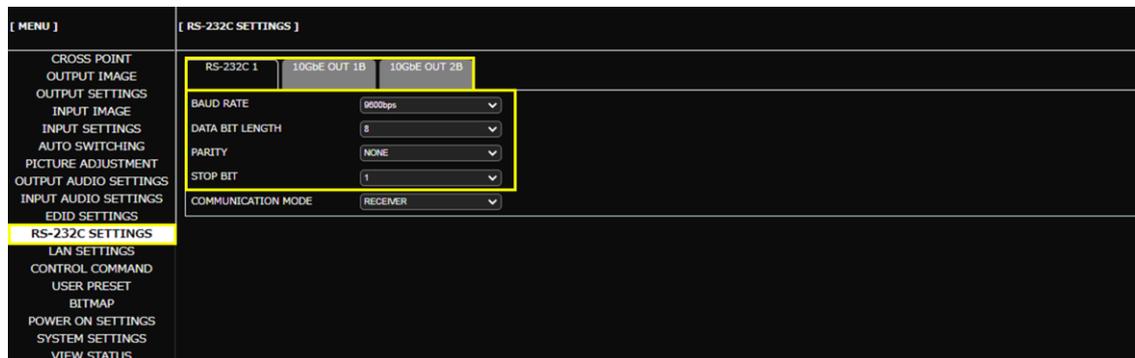
本機の通信設定について説明します。

RS-232C 通信を設定する

フロントパネル

1. [RS-232C SETTINGS]→[PARAMETERS]を選択します。
2. 設定する RS-232C 通信対応コネクタを選択します。
3. 以下を設定します。
 - [BAUD RATE] : 通信速度
 - [DATA BIT LENGTH] : データビット長
 - [PARITY] : パリティチェック
 - [STOP BIT] : ストップビット
4. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Tip

以下は、RS-232C 通信の初期値です。

- 通信速度 : 9600 bps
- データビット長 : 8 bits
- パリティチェック : NONE (なし)
- ストップビット : 1 bit

LAN 通信を設定する

フロントパネル

1. [LAN SETTINGS]を選択します。
2. 以下を設定します。
 - [IP ADDRESS] : 本機の IP アドレス
 - [SUBNET MASK] : 本機のサブネットマスク
 - [GATE WAY] : 本機のゲートウェイアドレス
3. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]		[LAN SETTINGS]							
CROSS POINT		DESTINATION 1	DESTINATION 2	DESTINATION 3	DESTINATION 4	DESTINATION 5	DESTINATION 6	DESTINATION 7	DESTINATION 8
OUTPUT IMAGE		DESTINATION 9	DESTINATION 10	DESTINATION 11	DESTINATION 12				
OUTPUT SETTINGS		REMOTE IP ADDRESS: 192 168 1 98							
INPUT IMAGE		PLink: OFF							
INPUT SETTINGS		COMMAND DESTINATION							
AUTO SWITCHING		REMOTE PORT NUMBER: 800							
PICTURE ADJUSTMENT		PLink PASSWORD							
OUTPUT AUDIO SETTINGS		IP ADDRESS: 192 168 1 199 SET							
INPUT AUDIO SETTINGS		SUBNET MASK: 255 255 255 0 SET							
EDID SETTINGS		GATEWAY ADDRESS: 192 168 1 200 SET							
RS-232C SETTINGS		MAC ADDRESS: 00-08-E5-6C-00-1E							
LAN SETTINGS		OUT1B: 00-08-E5-6E-00-2D							
CONTROL COMMAND		OUT2B: 00-08-E5-6E-00-2E							
USER PRESET		AUTO DISCONNECT: SERVER DISCONNECT 30 1 - 180s							
BITMAP		LAN THROUGH: OUT1B ON							
POWER ON SETTINGS									
SYSTEM SETTINGS									
VIEW STATUS									

Notes

- ・ 外部機器から本機への LAN 通信は、8 コネクションまで可能です。
- ・ 本機から外部機器への LAN 通信は、12 コネクションまで可能です。

Tips

- ・ 以下は、LAN 通信の初期値です。
 - IP アドレス : 192.168.1.199
 - サブネットマスク : 255.255.255.0
 - デフォルトゲートウェイ : 192.168.1.200
 - TCP ポート : 1100 (固定)
- ・ 本機は、10GbE の出力コネクタおよび HDBaseT の出力コネクタを経由した LAN 通信に対応しています。詳細は、テクニカルガイドを参照してください。以下は、コネクタごとの初期値です。
 - 10GbE コネクタ : OFF (LAN 通信無効)
 - HDBaseT コネクタ : ON (LAN 通信有効)

プロジェクターの電源制御

本機からプロジェクターの電源を制御する方法について説明します。

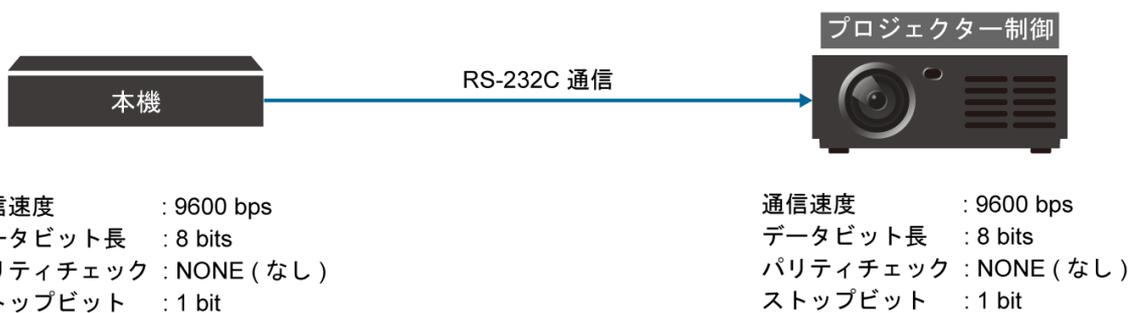
Tip

本機からプロジェクターの電源制御以外の制御をしたい場合は、テクニカルガイドを参照してください。

RS-232C 通信で制御する

アドバンスト

以下は、ファンクションボタンでプロジェクターの電源を制御する場合の例です。

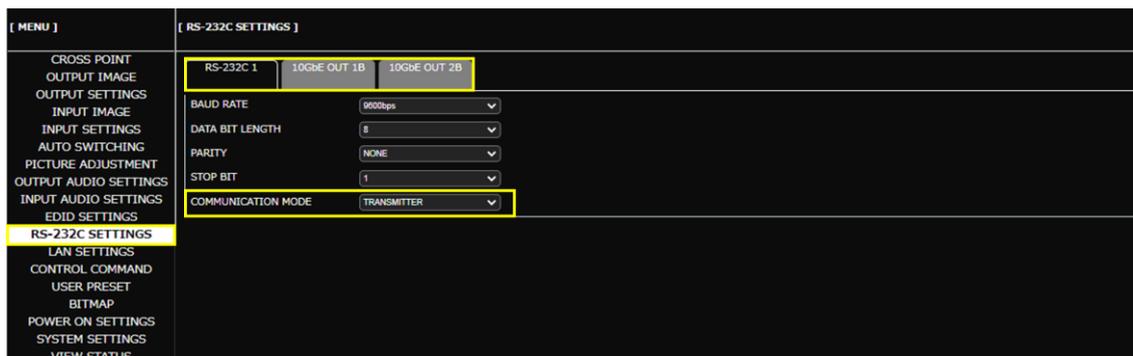


1. “RS-232C 通信を設定する (P.66)”で、本機の RS-232C 通信をプロジェクターと同じ設定にします。
2. 本機の RS-232C 通信を送信モードにします。

フロントパネル

- a) [RS-232C SETTINGS]→[COMMUNICATION MODE]を選択します。
- b) 設定する RS-232C 通信コネクタを選択します。
- c) [TRANSMITTER]を選択します。
- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



3. プロジェクターの電源 ON と OFF の 2 つの制御コマンドを本機に登録します。

フロントパネル

- [CONTROL COMMAND]→[COMMAND REGISTER/EDIT]を選択します。
- 登録するコマンド(CMD)の番号を選択します。
- プロジェクターの電源 ON と OFF の制御コマンドを以下の内容で登録します。

	CMD1	CMD2
I/F	RS-232C/LAN	RS-232C/LAN
RS1	ON	ON
DATA	電源 ON コマンド	電源 OFF コマンド
DATA SIZE	送信データサイズ	送信データサイズ
MEMO	POWER ON	POWER OFF

Notes

- ・ 初期値から変更する設定値のみ記載しています。記載のない設定値は初期値です。
- ・ [DATA]に入力するプロジェクターの電源制御コマンドは、プロジェクターの取扱説明書を参照してください。

- MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

Tips

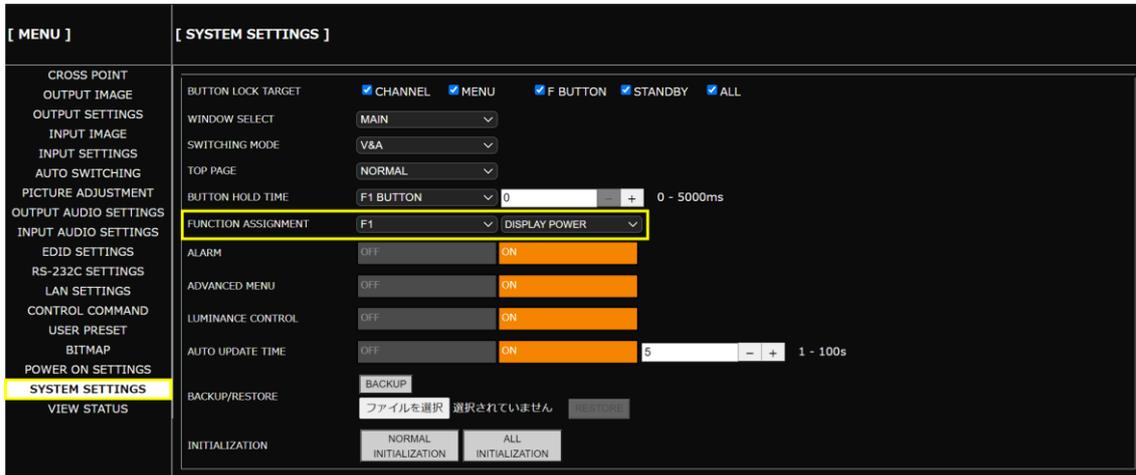
- ・ 本機に登録する制御コマンドは、弊社ホームページからダウンロードできるマルチスイッチャー設定ソフトウェアまたは制御コマンド設定ツールを使用して作成することもできます。
- ・ 本機に登録した制御コマンドを制御機器から実行する場合は、@EXC コマンドを本機に送信します。詳細は、コマンドガイドを参照してください。

4. プロジェクターの電源を制御するファンクションボタンに[DISPLAY POWER]を割り当てます。

フロントパネル

- a) [SYSTEM SETTING]→[FUNCTION ASSIGNMENT]を選択します。
- b) [F1]を選択します。
- c) [F1]に[DISPLAY POWER]を割り当てます。
- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



5. プロジェクターの電源を制御する制御コマンドをファンクションボタンに関連付けます。

フロントパネル

- [CONTROL COMMAND]→[COMMAND LINK]を選択します。
- [F1]を選択します。
- [A-1st]と[B-1st]に登録したプロジェクターの電源 ON と OFF の制御コマンドを関連付けます。

[TOGGLE]: ON

[A-1st] : COMMAND 2

[B-1st] : COMMAND 1

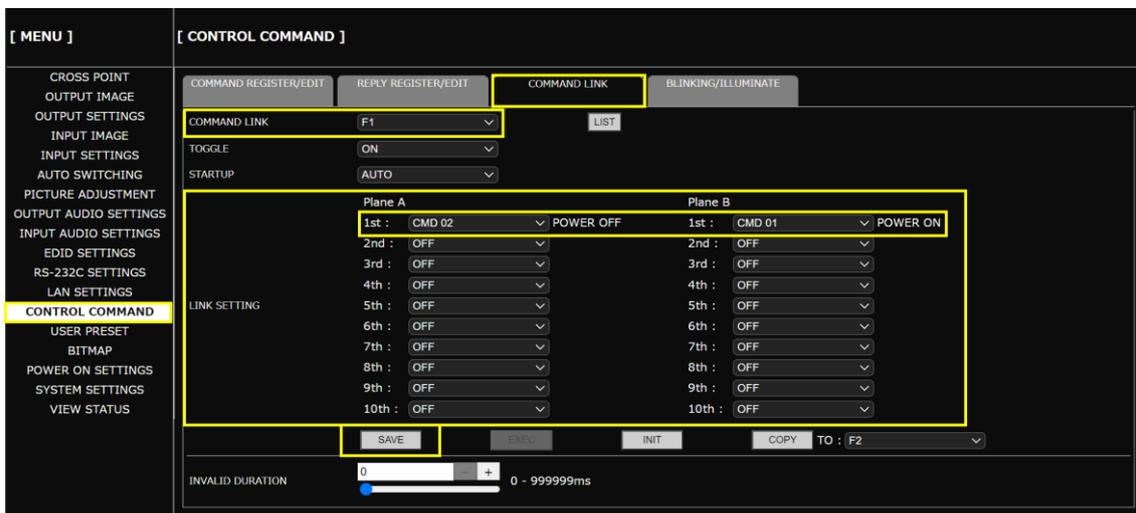
Note

[A-1st]: 点灯状態のファンクションボタンを押すと実行されるコマンド

[B-1st]: 消灯状態のファンクションボタンを押すと実行されるコマンド

- MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



6. 制御コマンドを関連付けしたファンクションボタンを押します。

消灯状態の F1 ボタンを押す : プロジェクターの電源 ON

点灯状態の F1 ボタンを押す : プロジェクターの電源 OFF

Tip

本メニューはアドバンスメニューです。アドバンスメニューの表示方法は、“アドバンスメニューの表示 (P.18)”を参照してください。

PJLink(LAN 通信)で制御する

アドバンスト



1. “LAN 通信を設定する (P.67)”で本機の LAN 通信を設定します。
2. 制御コマンド送信先の設定をします。

フロントパネル

- a) [LAN SETTINGS]→[COMMAND DESTINATION]を選択します。
- b) [DESTINATION1]を選択します。
- c) プロジェクターの IP アドレス[192.168.1.101]を設定します。
- d) [PJLink]を[ON]に設定します。
- e) プロジェクターの PJLink のパスワード[123456]を設定します。

Note

PJLink のパスワードはプロジェクターの取扱説明書を参照してください。

- f) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[LAN SETTINGS]
CROSS POINT	DESTINATION 1 DESTINATION 2 DESTINATION 3 DESTINATION 4 DESTINATION 5 DESTINATION 6 DESTINATION 7 DESTINATION 8
OUTPUT IMAGE	DESTINATION 9 DESTINATION 10 DESTINATION 11 DESTINATION 12
OUTPUT SETTINGS	REMOTE IP ADDRESS 192 168 1 101
INPUT IMAGE	COMMAND DESTINATION PJLink ON
INPUT SETTINGS	REMOTE PORT NUMBER 352
AUTO SWITCHING	PJLink PASSWORD 123456
PICTURE ADJUSTMENT	IP ADDRESS 192 168 1 199 SET
OUTPUT AUDIO SETTINGS	SUBNET MASK 255 255 255 0 SET
INPUT AUDIO SETTINGS	GATEWAY ADDRESS 192 168 1 200 SET
EDID SETTINGS	MAC ADDRESS 00-08-E5-6C-00-19
RS-232C SETTINGS	AUTO DISCONNECT SERVER DISCONNECT 30 1 - 180s
LAN SETTINGS	LAN THROUGH OUT 1B OFF
CONTROL COMMAND	
USER PRESET	
BITMAP	
POWER ON SETTINGS	
SYSTEM SETTINGS	
VIEW STATUS	

Note

PJLink プロトコル接続を使用しない場合は、[PJLink]で[OFF]を選択し、制御コマンド送信先のポート番号を設定します。

3. 延長コネクタから制御コマンドを送信する場合のみ、延長コネクタの LAN 通信を有効にします。

フロントパネル

- a) [LAN SETTINGS]→[LAN THROUGH]を選択します。
- b) 延長コネクタを選択します。
- c) [ON]に設定します。

WEB GUI

The screenshot shows the WEB GUI interface for LAN settings. On the left is a menu with 'LAN SETTINGS' highlighted. The main area is titled '[LAN SETTINGS]' and contains various configuration fields. At the bottom, the 'LAN THROUGH' section is highlighted in yellow, showing 'OUT 1B' selected in a dropdown menu and 'ON' selected in another dropdown menu.

Note

本機の LAN 通信対応コネクタは、本機内部で 1 つのハブ(HUB)に接続されています。本機の LAN 通信対応コネクタを 2 つ以上同一のネットワークに接続するとネットワークループが発生し、ネットワーク障害が起こります。この場合は、ネットワークループが発生しない接続に変更するか、ループ接続になっている出力コネクタを[OFF]にすることで、この障害を回避します。

4. プロジェクターの電源 ON と OFF の 2 つの制御コマンドを本機に登録します。

フロントパネル

- [CONTROL COMMAND]→[COMMAND REGISTER/EDIT]を選択します。
- 登録するコマンド(CMD)の番号を選択します。
- プロジェクターの電源 ON と OFF の制御コマンドを以下のように登録します。

	CMD1	CMD2
I/F	RS-232C/LAN	RS-232C/LAN
[LAN DESTINATION1]	ON	ON
DATA	%1POWR 1↓	%1POWR 0↓
DATA SIZE	9	9
MEMO	POWER ON	POWER OFF

Note

初期値から変更する設定値のみ記載しています。記載のない設定値は初期値です。

- MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

Tips

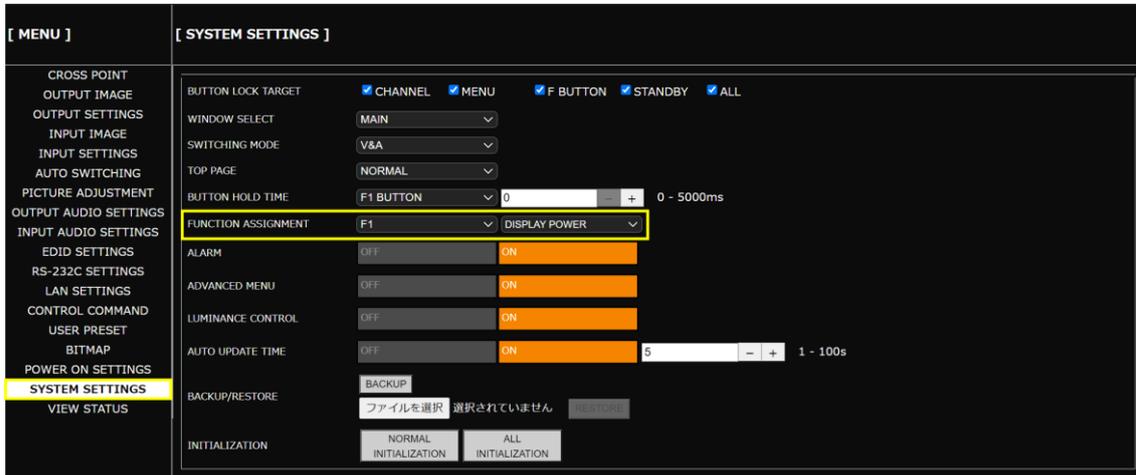
- 本機に登録する制御コマンドは、弊社ホームページからダウンロードできるマルチスイッチャー設定ソフトウェアまたは制御コマンド設定ツールを使用して作成することもできます。
- 本機に登録した制御コマンドを制御機器から実行する場合は、@EXC コマンドを本機に送信します。詳細は、コマンドガイドを参照してください。

5. プロジェクターの電源を制御するファンクションボタンに[DISPLAY POWER]を割り当てます。

フロントパネル

- a) [SYSTEM SETTING]→[FUNCTION ASSIGNMENT]を選択します。
- b) [F1]を選択します。
- c) [F1]に[DISPLAY POWER]を割り当てます。
- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



6. プロジェクターの電源を制御する制御コマンドをファンクションボタンに関連付けます。

フロントパネル

- a) [CONTROL COMMAND]→[COMMAND LINK]を選択します。
- b) [F1]を選択します。
- c) [A-1st]と[B-1st]に登録したプロジェクターの電源 ON と OFF の制御コマンドを関連付けます。

[TOGGLE]: ON

[A-1st] : COMMAND 2

[B-1st] : COMMAND 1

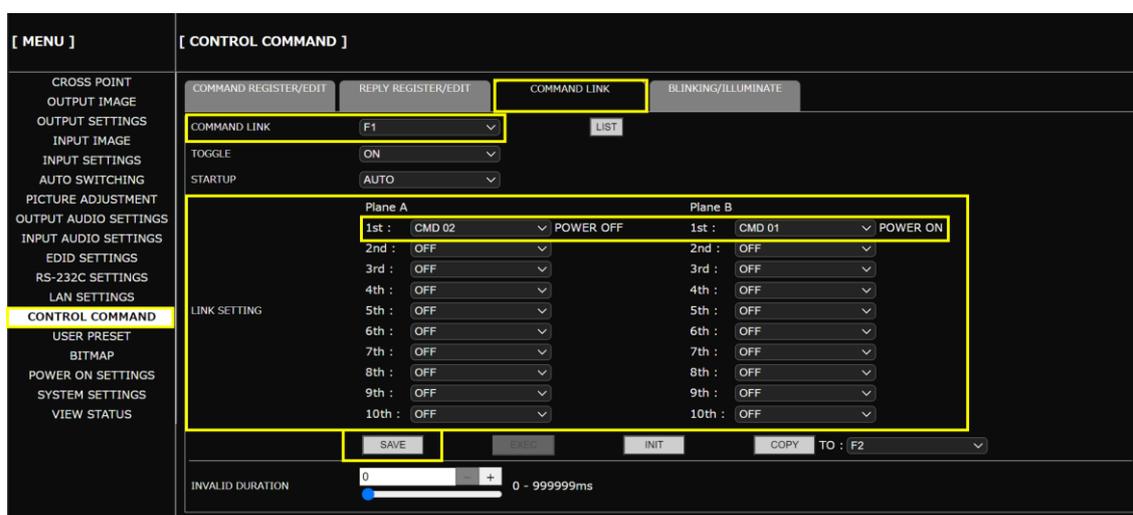
Note

[A-1st]: 点灯状態のファンクションボタンを押す操作

[B-1st]: 消灯状態のファンクションボタンを押す操作

- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



7. 制御コマンドを関連付けしたファンクションボタンを押します。

消灯状態の F1 ボタンを押す : プロジェクターの電源 ON

点灯状態の F1 ボタンを押す : プロジェクターの電源 OFF

Tip

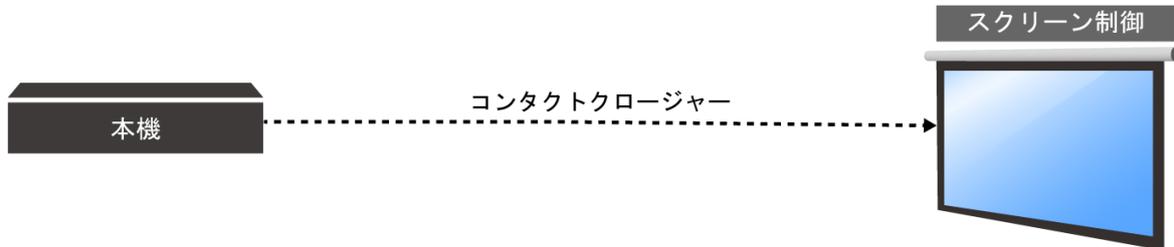
本メニューはアドバンスメニューです。アドバンスメニューの表示方法は、“アドバンスメニューの表示 (P.18)”を参照してください。

スクリーンの制御

本機からスクリーンを制御する方法について説明します。

コンタクトクロージャーで制御する

以下は、ファンクションボタンでスクリーンを制御する場合の例です。



1. スクリーンの上昇、下降、および停止の3つの制御コマンドを本機に登録します。

フロントパネル

- a) [CONTROL COMMAND]→[COMMAND REGISTER/EDIT]を選択します。
- b) 登録するコマンド(CMD)の番号を選択します。
- c) スクリーンの上昇、下降、および停止の3つの制御コマンドを以下のように登録します。

	CMD3		CMD4		CMD5	
I/F	CONTACT CLOSURE		CONTACT CLOSURE		CONTACT CLOSURE	
CH1	ON	PULSE: 500 ms	OFF	PULSE: NONE	OFF	PULSE: NONE
CH2	OFF	PULSE: NONE	ON	PULSE: 500 ms	OFF	PULSE: NONE
CH3	OFF	PULSE: NONE	OFF	PULSE: NONE	ON	PULSE: 500 ms
MEMO	SCREEN UP		SCREEN STOP		SCREEN DOWN	

Notes

- ・ 初期値から変更する設定値のみ記載しています。
- ・ [CH1] ~ [CH3]の[PULSE]に設定する値は、スクリーンの取扱説明書を参照してください。

- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

Tips

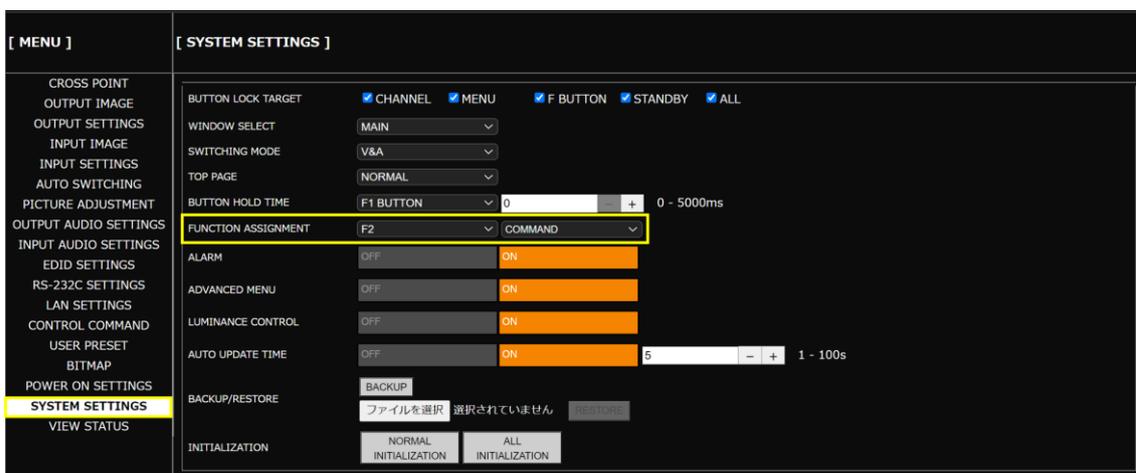
- ・ 本機に登録する制御コマンドは、弊社ホームページからダウンロードできるマルチスイッチャー設定ソフトウェアまたは制御コマンド設定ツールを使用して作成することもできます。
- ・ 本機に登録した制御コマンドを制御機器から実行する場合は、@EXC コマンドを本機に送信します。詳細は、コマンドガイドを参照してください。

2. スクリーンの上昇、下降、および停止を制御するファンクションボタンに[COMMAND]を割り当てます。

フロントパネル

- a) [SYSTEM SETTING]→[FUNCTION ASSIGNMENT]を選択します。
- b) [F2] ~ [F4]に[COMMAND]を割り当てます。
- c) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



3. スクリーンの上昇、下降、および停止の制御コマンドをファンクションボタンに関連付けます。

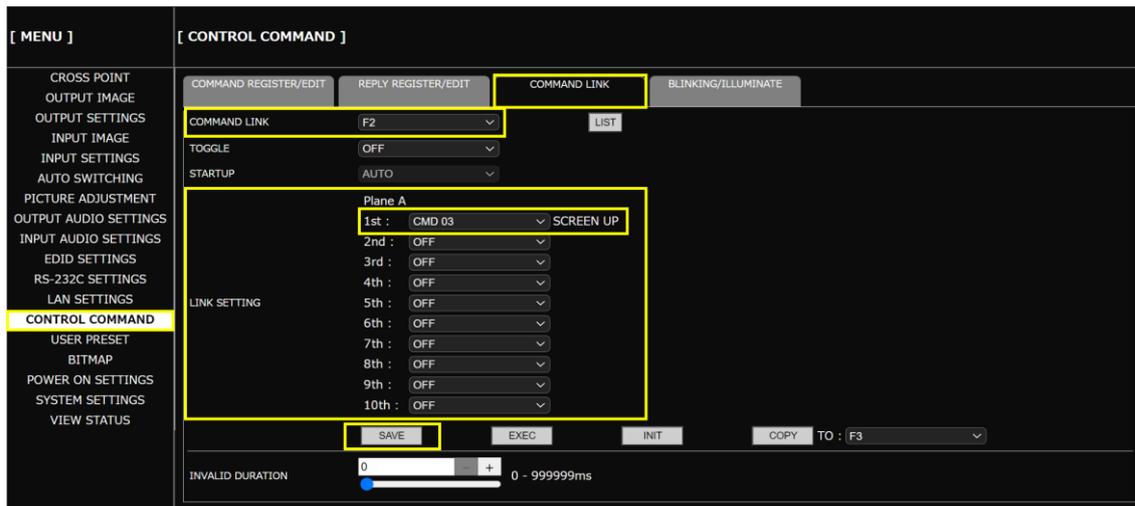
フロントパネル

- [CONTROL COMMAND]→[COMMAND LINK]を選択します。
- [F2] ~ [F4]を選択します。
- [F2] ~ [F4]の[1st]に登録したスクリーンの上昇、下降、および停止の制御コマンドを関連付けます。

	F2	F3	F4
TOGGLE	OFF	OFF	OFF
1st	COMMAND 3	COMMAND 4	COMMAND 5

- MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



4. 制御コマンドを関連付けしたファンクションボタンを押します。

点灯状態の F2 ボタンを押す : スクリーンの上昇
 点灯状態の F3 ボタンを押す : スクリーンの停止
 点灯状態の F4 ボタンを押す : スクリーンの下降

ステータスの確認

フロントパネルおよび WEB GUI に表示されるステータス画面では、入出力信号の状態やシンク機器の EDID 情報を確認することができます。

映像や音声が出力されない場合は、はじめにステータス情報を確認してください。

入力信号の状態を確認する

フロントパネル

1. [VIEW STATUS]→[INPUT STATUS]を選択します。
2. 確認する入力コネクタを選択します。
3. 確認する情報を選択します。

入力映像信号の解像度

[IN1 RESOLUTION] ⇄
3840x2160p 59.94Hz

入力映像の信号フォーマット

[IN1 VIDEO FORMAT] ⇄
HDMI 444 8bpc

[IN1 VIDEO FORMAT] ⇄
HDMI 444 8bpc LIMITED

入力音声の信号フォーマット

[IN1 AUDIO FORMAT] ⇄
L-PCM 48kHz 24bit M

HDCP 情報

[IN1 HDCP STATUS] ⇄
HDCP2.2 Type0

すべての入力コネクタの状態

IN1 2 3 4 ⇄
H D H

[H] : HDMI 信号が入力されている
[D] : DVI 信号が入力されている
(空欄) : 信号無入力
信号表示右上 [H] : HDCP で保護されている信号
信号表示右下 [A] : 音声が入力されている

WEB GUI



出力信号の状態を確認する

フロントパネル

1. [VIEW STATUS]→[OUTPUT STATUS]を選択します。
2. 確認する出力コネクタを選択します。
3. 確認する情報を選択します。

出力映像信号の解像度

[OUT1A RESOLUTION] ⇄
3840x2160p 59.94Hz AAA

出力映像の信号フォーマット

[OUT1A VIDEO FORMAT] ⇄
HDMI 444 8bpc LIMITED

出力音声の信号フォーマット

[OUT1A AUDIO FORMAT] ⇄
L-PCM 48kHz 24bit M

HDCP 出力、認証状態

[OUT1A HDCP STATUS] ⇄
HDCP2.2 Type0

すべての出力コネクタの状態

OUT1A 1B 2A 2B ⇄
L H E

- [H] : HDCP あり出力
- [L] : HDCP なし出力
- [E] : HDCP 認証に失敗
- [C] : HDCP 認証中
- [X] : 映像同期信号の出力が停止中
- [D] : シンク機器が切断 (1 秒間表示)
- (空欄) : シンク機器が未接続または映像同期信号の出力が停止中

Note

AAA にはエラーコードが表示されます。エラーコードの詳細は、テクニカルガイドを参照してください。

WEB GUI

[MENU]	[VIEW STATUS]	OUTPUT/INPUT	HARDWARE
CROSS POINT OUTPUT IMAGE OUTPUT SETTINGS INPUT IMAGE INPUT SETTINGS AUTO SWITCHING PICTURE ADJUSTMENT OUTPUT AUDIO SETTINGS INPUT AUDIO SETTINGS EDID SETTINGS RS-232C SETTINGS LAN SETTINGS CONTROL COMMAND USER PRESET BITMAP POWER ON SETTINGS SYSTEM SETTINGS VIEW STATUS	OUTPUT STATUS	SINK DEVICE EDID	INPUT STATUS
	VIDEO STATUS : HDMI OUT 1A 10GbE OUT 1B HDMI OUT 2A 10GbE OUT 2B RESOLUTION : 3840x2160p 59.94Hz Unconnected 3840x2160p 59.94Hz Unconnected HDMI/DVI : HDMI Mode HDMI Mode HDCP AUTHENTICATION : HDCP 2.2 HDCP 2.2 COLOR SPACE : YCbCr444 YCbCr444 DEEP COLOR : 8 bpc 8 bpc COLOR RANGE : Limited Limited		
	OUTPUT STATUS		
	AUDIO STATUS : HDMI OUT 1A 10GbE OUT 1B HDMI OUT 2A 10GbE OUT 2B FORMAT : Linear PCM Unconnected Linear PCM Unconnected SAMPLING FREQUENCY : 48kHz 48kHz CHANNEL : 2 Channel 2 Channel BIT LENGTH : 24 bit 24 bit		
	ERROR STATUS		
	VIDEO ERROR : DIGITAL AUDIO ERROR : ANALOG AUDIO ERROR :		

Note

接続されているシンク機器によっては、本機の出力設定と異なる信号が出力されることがあります。

シンク機器の EDID を確認する

シンク機器が対応している最適な解像度や音声フォーマットなどを確認する場合に有効です。

フロントパネル

1. [VIEW STATUS]→[SINK DEVICE EDID]を選択します。
2. 確認するシンク機器が接続されている出力コネクタを選択します。
3. 確認する情報を選択します。

シンク機器名と推奨解像度

[OUT1A] MONITOR NAME ⇄
3840x2160p 594.00MHz

対応映像信号フォーマット

[OUT1A] HDMI ⇄
RGB/YCbCr422/444

[OUT1A] ⇄
DVI

対応色深度

[OUT1A] ⇄
8/10/12 bpc

対応音声サンプリング周波数

[OUT1A] ⇄
32/44.1/48/96kHz

対応音声信号フォーマット

[OUT1A] 16/20/24BIT ⇄
8CHANNEL COMPRESSED

WEB GUI

The screenshot shows the WEB GUI interface with the following structure:

- [MENU]**: A vertical list of menu items including CROSS POINT, OUTPUT IMAGE, OUTPUT SETTINGS, INPUT IMAGE, INPUT SETTINGS, AUTO SWITCHING, PICTURE ADJUSTMENT, OUTPUT AUDIO SETTINGS, INPUT AUDIO SETTINGS, EDID SETTINGS, RS-232C SETTINGS, LAN SETTINGS, CONTROL COMMAND, USER PRESET, BITMAP, POWER ON SETTINGS, SYSTEM SETTINGS, and **VIEW STATUS** (highlighted).
- [VIEW STATUS]**: A sub-menu with tabs for OUTPUT STATUS, **SINK DEVICE EDID** (selected), and INPUT STATUS.
- OUTPUT/INPUT**: A sub-tab for the selected SINK DEVICE EDID.
- Hardware Settings Table**:

	HDMI OUT 1A	10GbE OUT 1B	HDMI OUT 2A	10GbE OUT 2B
MONITOR NAME	VAC-S12U	Reference Not Available	MSD-V42UC	Reference Not Available
RESOLUTION	3840x2160 594.00MHz		3840x2160 594.00MHz	
HDMI/DVI	HDMI Mode		HDMI Mode	
COLOR SPACE	RGB/YCbCr444/422/420		RGB/YCbCr444/422/420	
DEEP COLOR	8 bpc		8 bpc	
PCM FREQUENCY	32/44.1/48kHz		32/44.1/48kHz	
PCM BIT LENGTH	16/20/24 bit		16/20/24 bit	
PCM CHANNEL	2 Channel		2 Channel	
COMPRESSED AUDIO	Not Supported		Not Supported	

ユーザープリセットの保存と呼び出し

パターンメモリー、クロスポイントメモリー、およびプリセットメモリーに本機の状態を保存し呼び出す方法について説明します。

以下3種類のユーザープリセットがあります。

- ・ プリセットメモリー : 現在の映像と音声の入力チャンネル選択情報と出力映像設定などの設定を保存し、任意のタイミングで呼び出します。
- ・ クロスポイントメモリー : 現在の映像と音声の入力チャンネル選択情報を保存し、任意のタイミングで呼び出します。
- ・ パターンメモリー : 現在のウインドウの表示位置、表示サイズなどの設定を保存し、任意のタイミングで呼び出します。

Tip

ユーザープリセットに保存される設定の詳細は、テクニカルガイドを参照してください。

本機の設定を保存する

現在の設定をプリセットメモリーに保存します。

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[STORE PRESET SETTINGS]を選択します。
2. プリセットメモリー番号を選択します。
3. 名称を入力します。
4. MENU/ENTER ボタンを押します。
保存の実行を確認するメッセージが表示されます。
5. [YES]を選択します。
6. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[USER PRESET]
CROSS POINT	RECALL CROSSPOINT : No.1 NAME: LOAD
OUTPUT IMAGE	
OUTPUT SETTINGS	RECALL PRESET SETTINGS PRESET NUMBER : No.1 NAME: LOAD
INPUT IMAGE	INPUT SETTINGS CROSSPOINT : N/A
INPUT SETTINGS	RECALL PATTERN OUTPUT : OUT1 NAME: LOAD
INPUT TIMING	INPUT TIMING PATTERN : No.1
AUTO SWITCHING	
PICTURE ADJUSTMENT	STORE CROSSPOINT : No.1 NAME: SAVE
OUTPUT AUDIO SETTINGS	STORE PRESET SETTINGS : No.1 NAME: PRESET1 SAVE
INPUT AUDIO SETTINGS	
EDID SETTINGS	STORE PATTERN OUTPUT : OUT1 NAME: SAVE
RS-232C SETTINGS	INPUT SETTINGS PATTERN : No.1
LAN SETTINGS	
CONTROL COMMAND	EDIT CROSSPOINT No.1 NAME: MAIN1 VIDEO: N/A MAIN1 AUDIO: N/A PinP1 VIDEO: N/A MAIN2 VIDEO: N/A MAIN2 AUDIO: N/A PinP2 VIDEO: N/A SAVE
USER PRESET	COPY OUTPUT SETTINGS OUT1 -> OUT2 SAVE
BITMAP	START-UP MEMORY LAST CHANNEL
POWER ON SETTINGS	
SYSTEM SETTINGS	
VIEW STATUS	

本機の設定を呼び出す

プリセットメモリーに保存した設定を呼び出します。

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[RECALL PRESET SETTINGS]を選択します。
2. 呼び出すプリセットメモリー番号を選択します。
3. [CROSSPOINT]でプリセットメモリーと同時に呼び出す入力チャンネル選択情報を選択します。
 - [N/A] : 入力チャンネル選択情報を呼び出さない
 - [PRESET] : プリセットメモリーに保存した入力チャンネル選択情報を呼び出す
 - [CP_MEMORY] : クロスポイントメモリーに保存した入力チャンネル選択情報を呼び出す
4. MENU/ENTER ボタンを押すと、呼び出しの実行を確認するメッセージが表示されます。
5. [YES]を選択します。
6. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[USER PRESET]
CROSS POINT	RECALL CROSSPOINT : [No.1] NAME: [LOAD]
OUTPUT IMAGE	RECALL PRESET SETTINGS PRESET NUMBER : [No.1] NAME: PRESET1 [LOAD] CROSSPOINT : [PRESET]
OUTPUT SETTINGS	RECALL PATTERN OUTPUT : [OUT1] NAME: [LOAD] PATTERN : [No.1]
INPUT IMAGE	STORE CROSSPOINT : [No.1] NAME: [SAVE]
INPUT SETTINGS	STORE PRESET SETTINGS : [No.1] NAME: PRESET1 [SAVE]
INPUT TIMING	STORE PATTERN OUTPUT : [OUT1] NAME: [SAVE] PATTERN : [No.1]
AUTO SWITCHING	[No.1] NAME: [SAVE]
PICTURE ADJUSTMENT	EDIT CROSSPOINT MAIN1 VIDEO: [N/A] MAIN1 AUDIO: [N/A] PinP1 VIDEO: [N/A] MAIN2 VIDEO: [N/A] MAIN2 AUDIO: [N/A] PinP2 VIDEO: [N/A] [SAVE]
OUTPUT AUDIO SETTINGS	COPY OUTPUT SETTINGS [OUT1] -> [OUT2] [SAVE]
INPUT AUDIO SETTINGS	START-UP MEMORY [LAST CHANNEL]
EDID SETTINGS	
RS-232C SETTINGS	
LAN SETTINGS	
CONTROL COMMAND	
USER PRESET	
BITMAP	
POWER ON SETTINGS	
SYSTEM SETTINGS	
VIEW STATUS	

クロスポイントを保存する

現在の映像と音声の入力チャンネル選択情報をクロスポイントメモリーに保存します。

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[STORE CROSSPOINT]を選択します。
2. クロスポイントメモリー番号を選択します。
3. 名称を入力します。
4. MENU/ENTER ボタンを押すと、保存の実行を確認するメッセージが表示されます。
5. [YES]を選択します。
6. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[USER PRESET]
CROSS POINT	RECALL CROSSPOINT : [No.1] NAME: [] [LOAD]
OUTPUT IMAGE	
OUTPUT SETTINGS	RECALL PRESET SETTINGS PRESET NUMBER : [No.1] NAME: PRESET1 [LOAD] CROSSPOINT : [N/A]
INPUT IMAGE	
INPUT SETTINGS	RECALL PATTERN OUTPUT : [OUT1] NAME: [] [LOAD] PATTERN : [No.1]
INPUT TIMING	
AUTO SWITCHING	STORE CROSSPOINT : [No.1] NAME: XPOINT1 [SAVE]
PICTURE ADJUSTMENT	
OUTPUT AUDIO SETTINGS	STORE PRESET SETTINGS : [No.1] NAME: [] [SAVE]
INPUT AUDIO SETTINGS	STORE PATTERN OUTPUT : [OUT1] NAME: [] [SAVE] PATTERN : [No.1]
EDID SETTINGS	
RS-232C SETTINGS	[No.1] NAME: []
LAN SETTINGS	EDIT CROSSPOINT MAIN1 VIDEO: [N/A] MAIN1 AUDIO: [N/A] PinP1 VIDEO: [N/A] [SAVE] MAIN2 VIDEO: [N/A] MAIN2 AUDIO: [N/A] PinP2 VIDEO: [N/A]
CONTROL COMMAND	
USER PRESET	COPY OUTPUT SETTINGS [OUT1] -> [OUT2] [SAVE]
BITMAP	START-UP MEMORY [LAST CHANNEL]
POWER ON SETTINGS	
SYSTEM SETTINGS	
VIEW STATUS	

クロスポイントを呼び出す

クロスポイントメモリーに保存した入力チャンネル選択情報を呼び出します。

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[RECALL CROSSPOINT]を選択します。
2. 呼び出すクロスポイントメモリー番号を選択します。
3. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[USER PRESET]
CROSS POINT	RECALL CROSSPOINT : [No.1] NAME: XPOINT1 [LOAD]
OUTPUT IMAGE	RECALL PRESET SETTINGS PRESET NUMBER : [No.1] NAME: PRESET1 [LOAD]
OUTPUT SETTINGS	CROSSPOINT : [N/A]
INPUT IMAGE	RECALL PATTERN OUTPUT : [OUT1] NAME: [LOAD]
INPUT SETTINGS	PATTERN : [No.1]
INPUT TIMING	STORE CROSSPOINT : [No.1] NAME: XPOINT1 [SAVE]
AUTO SWITCHING	STORE PRESET SETTINGS : [No.1] NAME: [SAVE]
PICTURE ADJUSTMENT	STORE PATTERN OUTPUT : [OUT1] NAME: [SAVE]
OUTPUT AUDIO SETTINGS	PATTERN : [No.1]
INPUT AUDIO SETTINGS	EDIT CROSSPOINT MAIN1 VIDEO: [IN1] MAIN1 AUDIO: [IN1] PinP1 VIDEO: [OFF] [SAVE]
EDID SETTINGS	MAIN2 VIDEO: [IN1] MAIN2 AUDIO: [IN1] PinP2 VIDEO: [OFF]
RS-232C SETTINGS	COPY OUTPUT SETTINGS [OUT1] -> [OUT2] [SAVE]
LAN SETTINGS	START-UP MEMORY [LAST CHANNEL]
CONTROL COMMAND	
USER PRESET	
BITMAP	
POWER ON SETTINGS	
SYSTEM SETTINGS	
VIEW STATUS	

レイアウトを保存する

現在のレイアウトをパターンメモリーに保存します。

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[STORE PATTERN]を選択します。
2. 設定を保存する出力チャンネルを選択します。
3. パターンメモリー番号を選択します。
4. 名称を入力します。
5. MENU/ENTER ボタンを押すと、保存の実行を確認するメッセージが表示されます。
6. [YES]を選択します。
7. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[USER PRESET]
CROSS POINT	RECALL CROSSPOINT : [No.1] NAME: XPOINT1 [LOAD]
OUTPUT IMAGE	RECALL PRESET SETTINGS PRESET NUMBER : [No.1] NAME: PRESET1 [LOAD]
OUTPUT SETTINGS	CROSSPOINT : [N/A]
INPUT IMAGE	RECALL PATTERN OUTPUT : [OUT1] NAME: PinP PTN1 [LOAD]
INPUT SETTINGS	PATTERN : [No.1]
INPUT TIMING	STORE CROSSPOINT : [No.1] NAME: XPOINT1 [SAVE]
AUTO SWITCHING	STORE PRESET SETTINGS : [No.1] NAME: [] [SAVE]
PICTURE ADJUSTMENT	STORE PATTERN OUTPUT : [OUT1] NAME: PinP PTN1 [SAVE]
OUTPUT AUDIO SETTINGS	PATTERN : [No.1]
INPUT AUDIO SETTINGS	EDIT CROSSPOINT [No.1] NAME: XPOINT1 [SAVE]
EDID SETTINGS	MAIN1 VIDEO: [IN1] MAIN1 AUDIO: [IN1] PinP1 VIDEO: [OFF]
RS-232C SETTINGS	MAIN2 VIDEO: [IN1] MAIN2 AUDIO: [IN1] PinP2 VIDEO: [OFF]
LAN SETTINGS	COPY OUTPUT SETTINGS [OUT1] -> [OUT2] [SAVE]
CONTROL COMMAND	START-UP MEMORY [LAST CHANNEL]
USER PRESET	
BITMAP	
POWER ON SETTINGS	
SYSTEM SETTINGS	
VIEW STATUS	

レイアウトを呼び出す

パターンメモリーに保存をしたレイアウトを呼び出します。

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[RECALL PATTERN]を選択します。
2. 設定を呼び出す出力チャンネルを選択します。
3. 呼び出すパターンメモリー番号を選択します。
4. MENU/ENTER ボタンを押すと、呼び出しの実行を確認するメッセージが表示されます。
5. [YES]を選択します。
6. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[USER PRESET]
CROSS POINT	RECALL CROSSPOINT : [No.1] NAME: XPOINT1 [LOAD]
OUTPUT IMAGE	
OUTPUT SETTINGS	RECALL PRESET SETTINGS PRESET NUMBER : [No.1] NAME: PRESET1 [LOAD]
INPUT IMAGE	CROSSPOINT : [N/A]
INPUT SETTINGS	RECALL PATTERN OUTPUT : [OUT1] NAME: PinP PTN1 [LOAD]
INPUT TIMING	PATTERN : [No.1]
AUTO SWITCHING	
PICTURE ADJUSTMENT	STORE CROSSPOINT : [No.1] NAME: XPOINT1 [SAVE]
OUTPUT AUDIO SETTINGS	STORE PRESET SETTINGS : [No.1] NAME: [] [SAVE]
INPUT AUDIO SETTINGS	STORE PATTERN OUTPUT : [OUT1] NAME: PinP PTN1 [SAVE]
EDID SETTINGS	PATTERN : [No.1]
RS-232C SETTINGS	
LAN SETTINGS	EDIT CROSSPOINT MAIN1 VIDEO: [IN1] MAIN1 AUDIO: [IN1] PinP1 VIDEO: [OFF]
CONTROL COMMAND	MAIN2 VIDEO: [IN1] MAIN2 AUDIO: [IN1] PinP2 VIDEO: [OFF]
USER PRESET	COPY OUTPUT SETTINGS [OUT1] -> [OUT2] [SAVE]
BITMAP	START-UP MEMORY [LAST CHANNEL]
POWER ON SETTINGS	
SYSTEM SETTINGS	
VIEW STATUS	

Tip

初期値では、パターンメモリーに以下のレイアウトが保存されています。

No.1



PinP ウィンドウ非表示

No.2



PinP ウィンドウ表示 (左上)

No.3



PinP ウィンドウ表示 (右上)

No.4



PinP ウィンドウ表示 (右下)

No.5



PinP ウィンドウ表示 (Side by Side)

起動時にユーザープリセットを呼び出す

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[START-UP MEMORY]を選択します。
2. 起動時に呼び出すユーザープリセットを選択します。
 - [LAST CHANNEL] : 電源を遮断またはスタンバイにする前の設定を呼び出します。
 - [CROSS POINT] : 選択したクロスポイントを呼び出します。
 - [PRESET MEMORY] : 選択したプリセットを呼び出します。

WEB GUI

[MENU]	[USER PRESET]
CROSS POINT	RECALL CROSSPOINT : No.1 NAME: XPOINT1 <input type="button" value="LOAD"/>
OUTPUT IMAGE	RECALL PRESET SETTINGS PRESET NUMBER : No.1 NAME: PRESET1 <input type="button" value="LOAD"/>
OUTPUT SETTINGS	CROSSPOINT : N/A
INPUT IMAGE	RECALL PATTERN OUTPUT : OUT1 NAME: PinP PTN1 <input type="button" value="LOAD"/>
INPUT SETTINGS	PATTERN : No.1
INPUT TIMING	STORE CROSSPOINT : No.1 NAME: XPOINT1 <input type="button" value="SAVE"/>
AUTO SWITCHING	STORE PRESET SETTINGS : No.1 NAME: <input type="text"/>
PICTURE ADJUSTMENT	STORE PATTERN OUTPUT : OUT1 NAME: PinP PTN1 <input type="button" value="SAVE"/>
OUTPUT AUDIO SETTINGS	PATTERN : No.1
INPUT AUDIO SETTINGS	EDIT CROSSPOINT No.1 NAME: XPOINT1
EDID SETTINGS	MAIN1 VIDEO: IN1 MAIN1 AUDIO: IN1 PinP1 VIDEO: OFF <input type="button" value="SAVE"/>
RS-232C SETTINGS	MAIN2 VIDEO: IN1 MAIN2 AUDIO: IN1 PinP2 VIDEO: OFF
LAN SETTINGS	COPY OUTPUT SETTINGS OUT1 -> OUT2 <input type="button" value="SAVE"/>
CONTROL COMMAND	START-UP MEMORY LAST CHANNEL

Note

プリセットメモリーに設定が保存されていない場合は、プリセットメモリーはメニューに表示されません。

設定のバックアップとリストア

設定のバックアップとリストアの方法について説明します。

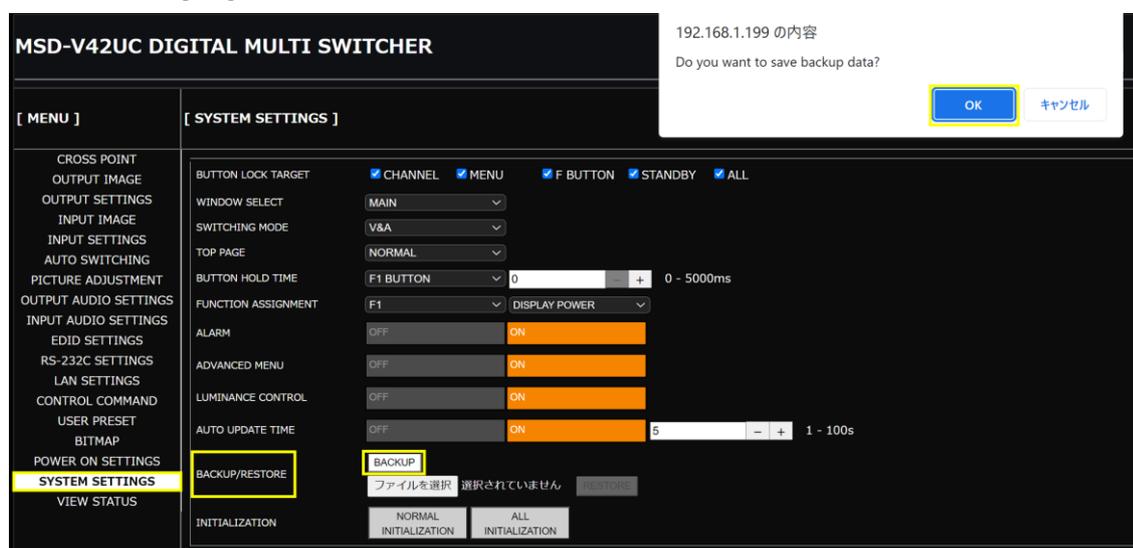
本機のすべての設定は、バックアップファイルとして WEB ブラウザーを使用して PC に保存することができます。

バックアップファイルは、すべての設定をリストアする場合に加えて、MSD-V4 シリーズの別の機器に設定をコピーする場合にも使用できます。

バックアップファイルを保存する

WEB GUI

1. [SYSTEM SETTINGS]を選択します。
2. [BACKUP/RESTORE]で[BACK UP]ボタンを押します。
3. 確認画面で[OK]ボタンを押します。



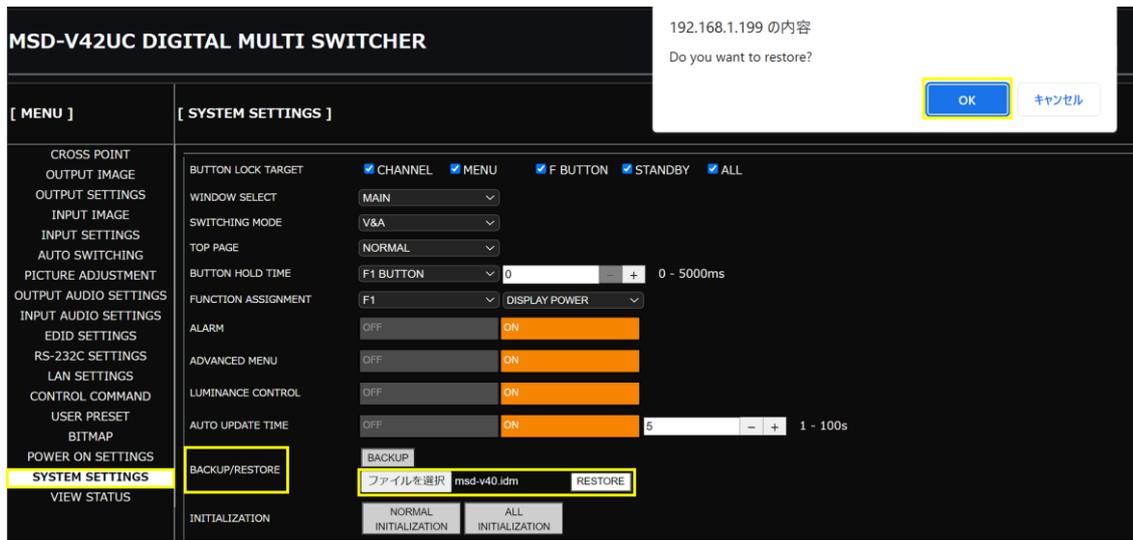
Notes

- ・ バックアップは、拡張子が IDM のファイルで保存されます。
- ・ ビットマップファイルはバックアップできません。

バックアップファイルから設定をリストアする

WEB GUI

1. [SYSTEM SETTINGS]を選択します。
2. [BACKUP/RESTORE]で[ファイルを選択]ボタンを押します。
3. リストアするバックアップファイルを選択します。
4. [RESTORE]ボタンを押します。
5. 確認画面で[OK]ボタンを押します。
リストアが完了すると本機は再起動します。



Note

リストアの実行中は、本機の電源を遮断しないでください。設定内容を失うことがあります。

初期化

設定を初期化する方法について説明します。

すべての設定を工場出荷時に戻す方法と、LAN および RS-232C 以外の設定を工場出荷時に戻す方法があります。

Note

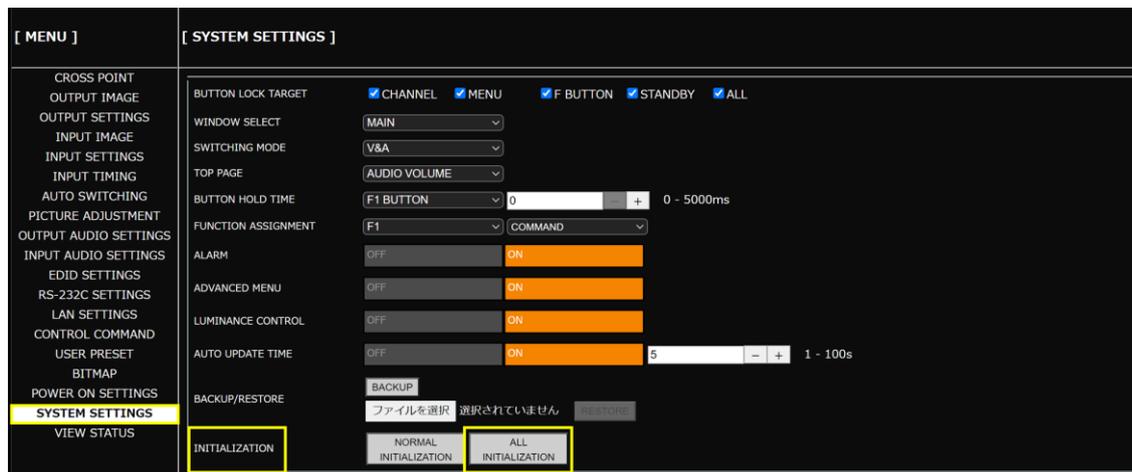
ビットマップファイル以外のすべての設定が初期化されます。設定のリストアが必要な場合は、初期化実行の前にバックアップを取得してください。

すべての設定を初期化する

フロントパネル

1. MENU/ENTER ボタンを押しながら本機を起動します。
2. フロントディスプレイに[Initializing...]が表示されていることを確認します。
3. MENU/ENTER ボタンを離します。

WEB GUI

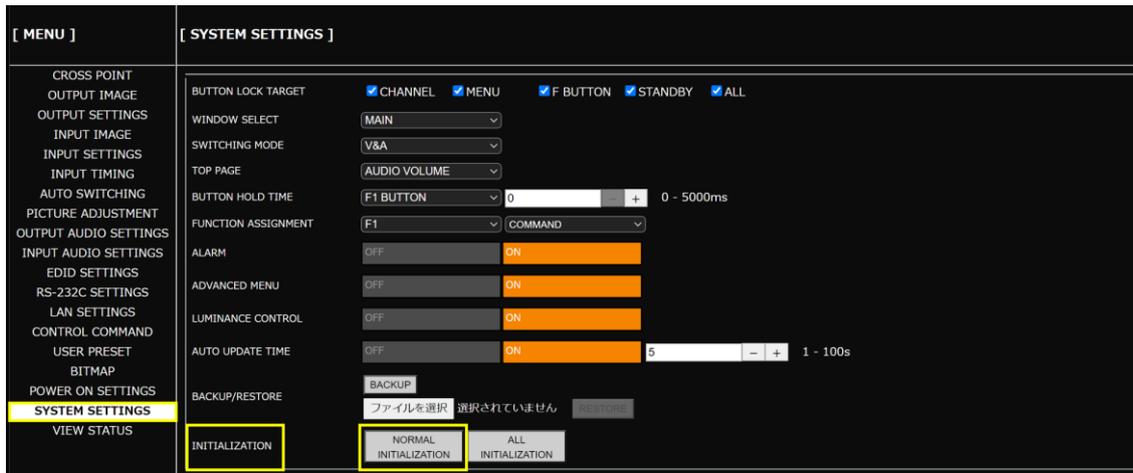


Note

フロントディスプレイに[Initializing...]と表示されている間は、本機の電源を遮断しないでください。正常に初期化されないことがあります。

通信設定以外を初期化する

WEB GUI



Note

フロントディスプレイに[Initializing...]と表示されている間は、本機の電源を遮断しないでください。正常に初期化されないことがあります。

その他の機能

知っているると便利な機能について説明します。

シンク機器のスタンバイ機能を利用する

アドバンスト

一定期間信号入力がないとスタンバイ状態になるシンク機器を接続している場合、本機から信号出力を電氣的に切断することで、シンク機器をスタンバイ状態にすることができます。

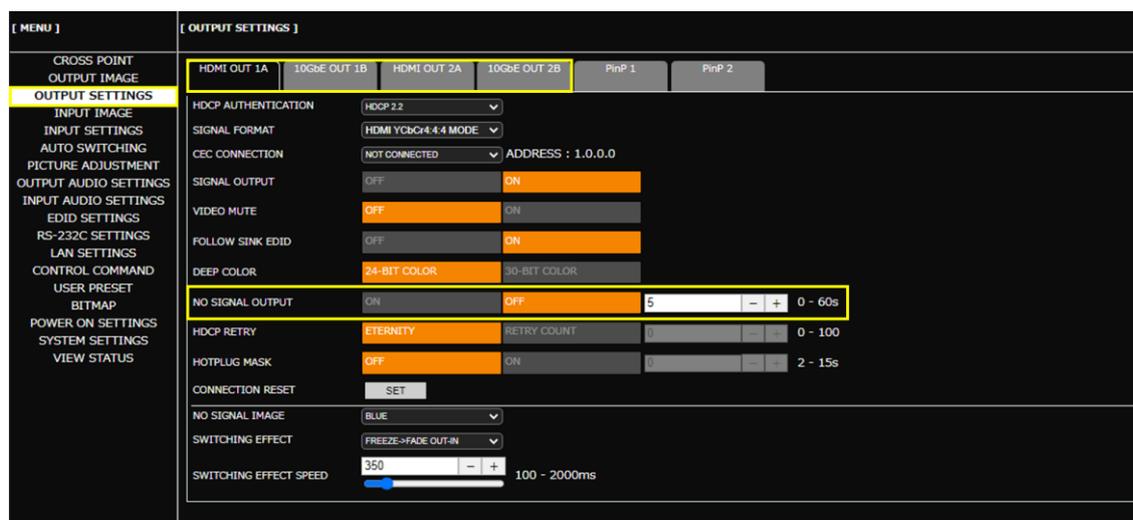
入力チャンネルに[OFF]を選択したとき、または入力映像信号が消失したときに信号出力を電氣的に切断する設定をします。

映像信号が入力されていない入力チャンネルを選択しているとき、または入力チャンネルに[OFF]を選択したときに信号出力を電氣的に切断する設定をします。

フロントパネル

1. [OUTPUT SETTINGS]→[NO SIGNAL OUTPUT]を選択します。
2. 設定する出力コネクターを選択します。
3. 信号出力を電氣的に切断するまでの時間を設定します。(初期値: ON)

WEB GUI



Note

信号出力を電氣的に切断する詳細条件は、テクニカルガイドを参照してください。

Tips

- ・ 入力映像信号にかかわらず、信号出力を電氣的に切断する方法はテクニカルガイドを参照してください。
- ・ 本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.18)」を参照してください。

正常に動作しないときは

本機が正常に動作しないときは、まず以下の点をご確認ください。

- ・ 本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・ 機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・ 接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・ シンク機器は正しく設定されていますか？
- ・ 機器の近くにノイズの原因になるようなものはありませんか？

また、本機に接続されている機器に原因があることもあるため、そちらの取扱説明書も参照してください。

WEB 内に記載の FAQ もご確認ください。

www.idk.co.jp/support/faq



それでも問題が解決しない場合は、以下の点を事前に確認し、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。

- ・ すべてのチャンネルで同じ現象が発生しますか？
- ・ 本機を介さずに接続したときは、正常に動作しますか？

デジタルマルチスイッチャー

MSD-V4 シリーズ

オペレーションガイド



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央7-9-1
TEL : 046-200-0764 FAX : 046-200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-5 大同生命江坂第2ビル5階
TEL : 06-6192-0764 FAX : 06-6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前4-9-2 八百治センタービル3階
TEL : 092-431-0764 FAX : 092-431-0906

e-mail info@idk.co.jp URL www.idk.co.jp